

汚染水対策スケジュール (1/2)

資料 1-1

分野	括り	対象設備・作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月以降	備考	
				20	27		3	10	17	24																	
●原子炉建屋滞留水を2020年末の半分程度に低減(2022~2024年度)	建屋内滞留水	【1~4号機 滞留水移送装置】 (実績) ・1~4号機滞留水移送装置運転  (予定) ・1~4号機滞留水移送装置運転	現場作業 1~4号機滞留水移送装置設置 運転																					(継続運転)			
		【α核種除去設備検討】	設計・検討 詳細設計・工事																						(2023年度 工事了り予定)		
		【1~4号機 T/B床面スラッジ等の回収方法検討】	設計・検討 詳細設計・工事																							(2023年度 設計完了予定)	
		【滞留水処理 代替タンク設計】	設計・検討 詳細設計・工事																							(2023年度 工事了り予定)	
		【プロセス主建屋・高温冷却建屋ゼオライト土壌の検討】	設計・検討 (2022年3月 基本設計完了) 詳細設計・工事																							(2024年度下期 工事了り予定)	基本設計完了：2022/3
●汚染水発生量を100m3/日以下に抑制(2025年内)	浄化設備	【既設多核種除去設備】 【高性能多核種除去設備】 【増設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業 処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																					(継続運転)	処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転または処理停止 増設多核種除去設備 前処理設備改造に係る実施計画変更申請 (2021/7/27、2022/3/1 補正、2022/4/12補正)		
		【サブドレン浄化設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業 処理運転																					(継続運転)	サブドレン汲み上げ、運用開始 (2015.9.3~) 排水開始 (2015.9.14~) 5/6号機サブドレンの復旧・汲み上げ・運用開始 (2022.3~)		
		【地下水バイパス設備】 (実績) ・運転 (予定) ・運転	現場作業 運転																					(継続運転)			
		【セシウム吸着装置】 【第二セシウム吸着装置】 【第三セシウム吸着装置】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業 処理運転																						(継続運転)	2021年1月29日 吸着塔の第二セシウム吸着装置及び第三セシウム吸着装置での再利用の実施計画変更認可 (原研発第2101291号) サイトハンパ力運送天井クレーン不具合事象に伴い、使用前検査工程検討中。(2022年9月~11月頃予定)	
	陸側運水壁	(実績・予定) ・東濃結団所補助工事は2018年9月に完了 ・維持管理運転2019年2月21日全域展開完了	現場作業 維持管理運転(北側、南側の一部 2017/5/22~、海側の一部 2017/11/13~、海側全域・山側の一部 2018/3/14~、山側全域2019/2/21完了)																					(継続運転)	2022年4月20日 プライン供給系統戻し、電動弁現地動作試験完了		
フェーシング(陸側運水室内エリア)	【凍土室内フェーシング(全6万㎡)】 ・4号機建屋西側	現場作業 4号機建屋西側																						4号機建屋西側：2023年2月完了予定			
	3号機R/B 燃料取出用カバー 雨水対策 その2 (カバー南側の対策)	(予定) ・2022年7月 雨樋設置完了予定	現場作業 2022年4月 工事着手																					(2022年7月 工事了り予定)			

汚染水対策スケジュール (2/2)

分野名	括弧	対象設備・作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月以降	備考			
				20	27		3	10	17	24			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下					
●タンク関連		H4エリアNo. 5タンクからの漏えい対策	(実績・予定) ・汚染の拡散状況把握	モニタリング																								(継続実施)	
		タンク解体	(予定) ・Eエリアフランジタンク解体工事 : 49基解体予定 (2023年度中) ・Eエリアフランジタンク (D1・D2) 内の残水回収 (スラッジ含む) (実績) 解体基数 46基/49基	Eエリアフランジタンク解体工事																								(2022年10月解体完了予定)* ※: 残水回収中の2基を除く	2018年9月10日 Eエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について (実施計画変更認可)
		タンク設置	(予定) ・G4北エリア溶接タンク設置工事 : 6基設置予定 (実績) 設置基数 6基/6基 ・G5エリア溶接タンク設置工事 : 17基設置予定 (実績) 設置基数 13基/17基	G4北エリア溶接タンク設置工事																									2021年11月5日 中低濃度タンク (G4 北、G5 エリア) の設置等の実施計画変更認可 (原規発第2111054号) G4北: 2022年6月使用前提検査受検予定 G5: 2022年9月 //
●自然災害対策		津波対策	○日本海津波津波対策 ・日本海津波対策防波堤設置 (実績・予定) 試験施工 本体構築工事  ○サブドレン腐水設備高台機能移転 (実績・予定) ろ過水タンク西側整備工事実施 地盤改良地質調査ボーリング	現場調査・測量・試験施工・本体構築工事																								(2024年3月 工事了り予定)	1-4号機側: 2024年3月完了予定 現場着手: 2021/06/21開始 テールアルム工事: 2021年9月14日作業開始 アッシュクリート打設: 2021年10月15日作業開始
		豪雨対策	○豪雨対策 ・D排水路新設 (実績) (4月25日時点) 準備工事 完了 立坑構築工 (両発達立坑部) 75% 立坑構築工 (上流側到達立坑部) 80% 立坑構築工 (下流側到達立坑部) 90% 立坑構築工 (小口径推進部) 70% トンネル工・推進管据付 (下流側) 完了 (上流部) 47/48本 (約110m/約110m)	立坑構築工事 (両発達立坑部、下流側到達立坑部、上流側到達立坑部、小口径推進部)																								(2022年8月 排水路工事了り予定)	準備工事 (両発達立坑部) : 2021年2月25日開始 両発達立坑部 : 2021/03/06施工開始 下流側到達立坑部 : 2021/03/22準備開始、7月16日施工開始 上流側到達立坑部 : 2021/04/05施工開始 トンネル工事 : 2021/07/29開始、2021/09/06掘進作業開始、 2021/09/16初期掘進開始、2021/9/28本掘進開始 2022/01/28に下流側掘進完了 2022/03/23に上流側掘進開始、2022/04/21に上流側掘進完了
				トンネル工事 (上流側: 2022.3~2022.4)																								(2023年2月 モニタリング設備 2系統化 工事了り予定)	

# 水処理設備の運転状況, 運転計画(1/2)

(2022年4月15日～2022年6月2日)

2022年5月20日  
東京電力ホールディングス株式会社

## 既設多核種除去設備

	15(金)	16(土)	17(日)	18(月)	19(火)	20(水)	21(木)	22(金)	23(土)	24(日)	25(月)	26(火)	27(水)	28(木)	29(金)	30(土)	1(日)	2(月)	3(火)	4(水)	5(木)	6(金)	7(土)	8(日)	9(月)	10(火)	11(水)	12(木)
A	計画停止														点検停止													
B	計画停止			点検停止																								
C	点検停止																											

## 増設多核種除去設備

	15(金)	16(土)	17(日)	18(月)	19(火)	20(水)	21(木)	22(金)	23(土)	24(日)	25(月)	26(火)	27(水)	28(木)	29(金)	30(土)	1(日)	2(月)	3(火)	4(水)	5(木)	6(金)	7(土)	8(日)	9(月)	10(火)	11(水)	12(木)
A	点検停止																											
B	←→			計画停止	←→				計画停止											←→			点検停止					
C	←→			計画停止	↔		計画停止	点検停止	←→				計画停止	←→			点検停止	↔										

## 高性能多核種除去設備

	15(金)	16(土)	17(日)	18(月)	19(火)	20(水)	21(木)	22(金)	23(土)	24(日)	25(月)	26(火)	27(水)	28(木)	29(金)	30(土)	1(日)	2(月)	3(火)	4(水)	5(木)	6(金)	7(土)	8(日)	9(月)	10(火)	11(水)	12(木)	
A	点検停止											計画停止	↔	計画停止															

## セシウム吸着装置(KURION), 第二セシウム吸着装置(SARRY), 第三セシウム吸着装置(SARRY2)

	15(金)	16(土)	17(日)	18(月)	19(火)	20(水)	21(木)	22(金)	23(土)	24(日)	25(月)	26(火)	27(水)	28(木)	29(金)	30(土)	1(日)	2(月)	3(火)	4(水)	5(木)	6(金)	7(土)	8(日)	9(月)	10(火)	11(水)	12(木)
SARRY	計画停止				←→				計画停止	↔	計画停止																	
SARRY2	←→				計画停止	←→											計画停止	←→										
KURION	計画停止																											

※ 現場状況を踏まえて運転するため、計画を変更する場合があります。

水処理設備の運転状況、運転計画(2/2)

(2022年4月15日～2022年6月2日)




2022年5月20日

東京電力ホールディングス株式会社


既設多核種除去設備

	13(金)	14(土)	15(日)	16(月)	17(火)	18(水)	19(木)	20(金)	21(土)	22(日)	23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)	1(水)	2(木)
A	点検停止																			計画停止	
B	点検停止							計画停止													
C	点検停止																				


増設多核種除去設備

	13(金)	14(土)	15(日)	16(月)	17(火)	18(水)	19(木)	20(金)	21(土)	22(日)	23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)	1(水)	2(木)
A	点検停止																				
B	点検停止																				
C		計画停止					点検停止			点検停止			計画停止								

高性能多核種除去設備

	13(金)	14(土)	15(日)	16(月)	17(火)	18(水)	19(木)	20(金)	21(土)	22(日)	23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)	1(水)	2(木)
A	計画停止				計画停止																

セシウム吸着装置(KURION), 第二セシウム吸着装置(SARRY), 第三セシウム吸着装置(SARRY2)

	13(金)	14(土)	15(日)	16(月)	17(火)	18(水)	19(木)	20(金)	21(土)	22(日)	23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)	1(水)	2(木)
SARRY	計画停止				計画停止												計画停止				
SARRY2		計画停止										計画停止									
KURION	計画停止																				

※ 現場状況を踏まえて運転するため、計画を変更する場合があります。

福島第一原子力発電所の滞留水の水位について  
(2022年4月15日～2022年5月19日)

2022年5月20日

東京電力ホールディングス株式会社

	原子炉建屋水位				タービン建屋水位				廃棄物処理建屋水位				集中廃棄物処理施設水位			
	1号機	2号機	3号機		4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	プロセス 主建屋	高温焼却炉 建屋	サイトバンカ 建屋
			HPCI室	トラス室												
4月15日	-2025	-2886	-2057	-2038	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-247	2705
4月16日	-2033	-2884	-2042	-2040	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-249	2705
4月17日	-2031	-2910	-2061	-2040	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-277	2704
4月18日	-2027	-2882	-2056	-2012	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-379	2704
4月19日	-2025	-2880	-2057	-2038	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-220	2704
4月20日	-2039	-2882	-2052	-2038	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	18	51
4月21日	-2032	-2898	-2061	-2041	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-31	41	75
4月22日	-2031	-2905	-2050	-2034	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-126	-156	96
4月23日	-2033	-2907	-2059	-2040	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-158	-250	120
4月24日	-2024	-2898	-2061	-2045	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-156	-332	143
4月25日	-2039	-2882	-2061	-2040	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-154	-406	166
4月26日	-2026	-2891	-2061	-2043	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-150	-445	188
4月27日	-2041	-2893	-2050	-2033	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-147	-511	212
4月28日	-2031	-2901	-2063	-2043	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-145	-597	235
4月29日	-2036	-2907	-2063	-2041	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-143	-515	256
4月30日	-2033	-2905	-2050	-2033	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-141	-254	276
5月1日	-2036	-2894	-2054	-2048	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-140	-14	296
5月2日	-2035	-2886	-2049	-1998	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-138	222	317
5月3日	-2031	-2879	-2061	-2040	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-136	237	339
5月4日	-2035	-2880	-2054	-2012	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-134	154	359
5月5日	-2051	-2886	-2063	-2041	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-132	86	379
5月6日	-2035	-2894	-2056	-2041	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-131	-9	400
5月7日	-2045	-2903	-2063	-2041	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-129	-100	421
5月8日	-2051	-2903	-2061	-2043	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-127	-185	441
5月9日	-2054	-2879	-2056	-2026	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-125	-288	461
5月10日	-2061	-2882	-2059	-2040	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-122	-361	480
5月11日	-2056	-2884	-2057	-2048	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-120	-416	498
5月12日	-2059	-2889	-2063	-2041	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-119	-479	514
5月13日	-2071	-2896	-2061	-2045	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-117	-521	532
5月14日	-2048	-2901	-2056	-2043	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-115	-402	548
5月15日	-2069	-2900	-2056	-2047	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-113	-142	565
5月16日	-2052	-2900	-2063	-2040	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-112	63	582
5月17日	-2048	-2903	-2054	-2041	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-109	9	597
5月18日	-2061	-2889	-2059	-2038	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-107	-144	615
5月19日	-2073	-2900	-2059	-2043	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-106	-306	632
最下階床面高さ	-2666	-4796	-4796	-4796	443	-1752	-1737	-1739	-36	-1736	-1736	-1736	-2736	-2236	2358	

## 備考欄

- ※ T.P表記 (単位:mm)
- ※ 5時時点の水位
- ※ 1号機タービン建屋の滞留水処理完了(2017年3月)
- ※ 1号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2019年3月)
- ※ 3号機原子炉建屋水位は、南東三角コーナー水位が停滞している事から水位変動を監視するため一時的に記載(2019年7月5日～)
- ※ 4号機原子炉建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 2～4号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 2～4号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ サイトバンカ建屋は過去に滞留水を誤って移送した経緯があり、排水したものの現状も低レベルの汚染が残っていることから、水位を監視している。  
《当該建屋内の水は1～4号機建屋及び集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋、高温焼却炉建屋)内の建屋滞留水と切り離されており、放射能濃度も低いことから、建屋滞留水ではない。》
- なお、これまでは水位計の測定下限値(約T.P.2700mm)以下まで水位低下処置し監視を行ってきたが、さらに建屋サンプの水位変動を確認するため、2022年4月19日より水位計を移設し連続監視を行う事とした。



## 汚染水等構内溜まり水の状況 (2022.5.12時点)

リスク縮点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考	
1	2号機大物搬入口屋上	・2号機大物搬入口屋上	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2階】 Cs-134: <1.0E1 Cs-137: 2.1E1 全β: 2.6E1 H-3: 1.0E2 (2015.11.2)  【1階】 Cs-134: 1.1E1 Cs-137: 4.0E1 全β: 4.1E1 H-3: 1.1E2 (2015.11.2)		
1-2	2号機R/B	2号機R/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【上層】 Cs-134: 200~340 Cs-137: 650~1100 全β: 920~1900 Sr-90: 10~20 H-3: ND(<100) (2015.1.16)		
2	5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約8,000 (2022.3.24時点)	Cs-134: 2.3E0 Cs-137: 7.6E1 (2022.3.24)	2.3E0 8.2E1 (2022.4.20)	5・6号建屋滞留水・RO処理水を貯留
3	5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約5,500 (2022.3.24時点)	Cs-134: 7.7 Cs-137: 4.3E1 (2016.10.3)		5・6号建屋滞留水を貯留
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物(SARRY、KURION、ALPS処理カラム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設(第一施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs-137: 2.0E3~1.6E7 Sr-90: 5.3E3~4.3E7 (2017.2~2017.3)		
7	濃縮水タンク(蒸発濃縮装置濃縮水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク(スラリー/濃縮水)	タンクエリア(Cエリア)	約65※1 (2019.2.1時点)	【蒸発濃縮装置濃縮水】 Cs-134: 1.7E4 Cs-137: 2.5E4 全β: 4.7E8 (2011.12.20)	蒸発濃縮装置濃縮水を貯留 ※1: 全5タンクの水量を 実測して算出	
9	5・6号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット	・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	6号機スクリーン近傍	約850	Cs-134: ND Cs-137: 1.8E0 (2022.2.1)		
		・5号機逆洗弁ピット	5号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: 3.0E0 Cs-137: 1.9E1 (2016.10.3)		
		・6号機逆洗弁ピット	6号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: 1.5E0 Cs-137: 1.1E1 (2016.10.3)		
10	1~4号機T/B屋根	・1号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上層】 Cs-134: 2.4E1 Cs-137: 8.3E2 (2022.3.18)  全β: 4.4E1 (2020.7.29)		
		・2号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2号機T/B上層】 Cs-134: ND Cs-137: 1.1E2 (2022.3.18)  全β: 8.9E0 (2020.7.29)		
11	1号CSTタンク(溶接タンク)	・1号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約740 (2016.10.26)	Cs-134: 2.9E+4 Cs-137: 1.9E+5 全β: 2.2E+5 (2016.11.7)		RO処理水を貯留
12	2号CSTタンク(溶接タンク)	・2号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,560 (2022.3.22)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 H-3: 2.0E5 Sr-90: ND (2022.2.10)	2.3E5 ND (2022.3.14)	2020.3.18より1~3号機炉注水源としての運用開始
					【2号CSTタンク貯留水】 Cs-134: 1.6E+02 Cs-137: 1.7E+03 (2018.12.14)  全β: 1.5E+03 (2018.12.19)		
13	3号CSTタンク(溶接タンク)	・3号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,980 (2022.3.22)	【3号CSTタンク貯留水】 Cs-134: 1.9E+2 Cs-137: 3.5E+3 全β: 6.3E+3 H-3: 7.5E+5 (2020.7.16)		RO処理水を貯留 1~3号機炉注水源

# 汚染水等構内溜まり水の状況 (2022.5.12時点)

リスク縮点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	—	<p>【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.3E6 (2018.9.12)</p> <p>(参考:漏えい検知孔水)</p> <p>全β: 1.4E4 (2022.4.5) ND (2019.9.4)</p>	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	—	<p>【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.1E6 (2018.9.12)</p> <p>(参考:漏えい検知孔水)</p> <p>全β: 1.6E4 (2022.4.6) ND (2019.9.4)</p>	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	—	<p>【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.2E6 (2018.9.11)</p> <p>(参考:漏えい検知孔水)</p> <p>全β: 1.3E4 (2022.2.15) ND (2019.9.5)</p>	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	—	<p>【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 2.8E4 (2018.9.12)</p>	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	—	<p>【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 7.8E6 (2018.9.11)</p> <p>(参考:漏えい検知孔水)</p> <p>全β: 4.5E1 (2019.9.5) H-3: ND (2019.9.5)</p>	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	—	<p>【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 1.5E2 (2018.9.12)</p>	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
22	1~4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1~4号機周辺	約4~170 (2020.12)	<p>Cs-134: ND~3.2E2 Cs-137: 9.6E1~7.6E3 全β: 9.6E1~8.0E3 H-3: 1.0E2~6.5E3 (2020.12)</p>	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2020年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
23	2~4号機DG連絡ダクト	・2~4号機DG連絡ダクト	2~4号機山側	約1,600 (2020.12)	<p>Cs-134: ND Cs-137: 9.3E1 全β: 1.1E2 H-3: ND (2022.1.13)</p>	
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約400 (2020.12)	<p>Cs-134: ND Cs-137: 4.1E1 全β: 4.5E1 (2022.1.13)</p>	
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約830 (2020.12)	<p>Cs-134: 4.8E1 Cs-137: 4.0E2 全β: 4.4E2 H-3: ND (2017.10)</p>	
28	1~4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1~4号機周辺	約1~830 (2018.12)	<p>Cs-134: ND~2.3E1 Cs-137: 7.0E0~2.7E2 全β: 5.4E1~7.2E2 H-3: ND~1.7E3 (2018.11~2019.1)</p>	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(2)「2018年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
29	1~4号機サブレンピット No.15,16(未復旧ピット)	・サブレンピットNo.15,16	1~4号機周辺「未復旧」	約20	<p>【No.16】 Cs-134: 2.3E3 Cs-137: 8.0E4 全β: 9.8E4 ND H-3: (2022.3.11)</p>	
30	その他1~4号機サブレン(ディーブウェル含む)(未復旧ピット)	・1号機~4号機サブレン	1~4号機周辺「未復旧」	約15/ピット	<p>【No.47,48】 Cs-134: ND~3.9E1 Cs-137: 4.8E1~9.6E1 全β: 7.9E1~2.8E2 H-3: ND (2014.11.10)</p>	
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1~4号タービン建屋海側	約4,200 (2018.12.17)	<p>【放水路上流側立坑】</p> <p>Cs-134: 6.5E1      <b>1.2E2</b> Cs-137: 2.4E3      <b>4.3E3</b> 全β: 2.9E3      <b>5.4E3</b> H-3: ND      <b>ND</b> (2022.4.18)      <b>(2022.5.9)</b></p>	



# 汚染水等構内溜まり水の状況 (2022.5.12時点)

リスク縮点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2-4号機タービン 建屋海側	約3,600 (2018.12.14)	【放水路上流側立坑】 Cs-134: 2.2E1 <b>2.9E1</b> Cs-137: 7.8E2 <b>8.0E2</b> 全β: 1.1E3 <b>1.2E3</b> H-3: ND <b>ND</b> (2022.4.18) <b>(2022.5.9)</b>	
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3-4号機タービン 建屋海側	約1,600 (2018.12.17)	Cs-134: 2.0E1 <b>1.3E1</b> Cs-137: 6.3E2 <b>5.0E2</b> 全β: 8.1E2 <b>7.7E2</b> H-3: 1.4E2 <b>1.9E2</b> (2022.3.9) <b>(2022.4.19)</b>	
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4,500	Cs-134: 7.2E0 Cs-137: 2.3E1 I-131: ND Co-60: ND 全γ放射能: 3.1E1 全β放射能: - (2014.5.23)	
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1000 (2022.3.24)	Cs-134: ND <b>ND</b> Cs-137: ND <b>ND</b> Co-60: 8.0E1 <b>9.6E1</b> (2022.3.9) <b>(2022.4.11)</b>	プラント保有水を貯留
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1650 (2022.3.24)	Cs-134: ND <b>ND</b> Cs-137: ND <b>ND</b> Co-60: ND <b>1.2E1</b> (2022.3.15) <b>(2022.4.19)</b>	プラント保有水を貯留
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5・6号機ストームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト 等	5~6号機周辺	約1~1,900 (2015.10~2016.1)	Cs-134: ND~2.2E2 Cs-137: ND~9.9E2 (2015.10~2016.1)	
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ビット	Cs-134: 1.0E+1 Cs-137: 1.4E+1 Co-60: <6.0E-01 全γ放射能: 2.4E+1 (2012.1.18)	
41	SPTタンク(1~4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1~4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2,800 (2015.3.25時点)	Cs-134: 8.0E+4 Cs-137: 1.6E+5 Co-60: 6.5E+2 (2013.8.27)	プラント保有水等を貯留
42	集中ラド周りサブドレン	・集中ラド周りサブドレン	主プロセス建屋等 各建屋周辺	約15/ビット	Cs-134: ND Cs-137: ND~3.1E1 <b>ND~2.7E1</b> (2022.4.20) <b>(2022.5.11)</b>	
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(建屋エリア)	約850	Cs-134: 2.1 Cs-137: 7.2 全β: 12.2 H-3: ND (2015.5.29)	震災後、坂下ダム補給水を貯留
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5~6号機	約8,500 (2022.3.24時点)	【5号機】 Cs-134: ND Cs-137: 1.1E0 全β: ND H-3: ND (2022.3.28) 【6号機】 Cs-134: ND Cs-137: 1.8E0 全β: ND H-3: 1.8E2 (2022.3.29)	
46	排気筒ドレンサンピット	・1/2号排気筒ドレンサンピット ・3/4号排気筒ドレンサンピット ・5/6号排気筒ドレンサンピット ・集中RW排気筒ドレンサンピット	1~4号機周辺 1~4号機周辺 5/6号機周辺 1~4号機周辺	約0.3※ ※適宜溜まり水の移送を実施 約2 約7.6 (2020.3.12) 約10	Cs-134: 1.1E5 <b>6.2E4</b> Cs-137: 3.7E6 <b>2.1E6</b> 全β: 3.2E6 <b>2.1E6</b> (2022.3.1) <b>(2022.3.29)</b> Cs-134: 9.5E1 <b>1.5E1</b> Cs-137: 1.8E3 <b>5.7E2</b> 全β: 2.3E3 <b>6.6E3</b> (2020.12.23) <b>(2022.3.31)</b> Cs-134: ND <b>ND</b> Cs-137: 1.3E1 <b>9.9E0</b> 全β: 1.2E1 <b>ND</b> (2021.2.18) <b>(2022.3.30)</b> Cs-134: 1.3E1 Cs-137: 3.0E2 全β: 2.7E2 (2022.2.16)	2019.10.12以降、水位低下傾向が確認された。 (2019.11.27) 2022.3.29の調査で流入箇所を特定したことから、今後流入抑制対策を実施していく。 (2022.4.27)
47	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫 (6~8号棟)	約200	Cs-134: ND Cs-137: 5.3E+1 全β: 4.8E+1 (2017.11.10)	



各建屋地下エリアの滞留水貯留状況

最終更新：2020/2/8  
東京電力ホールディングス株式会社

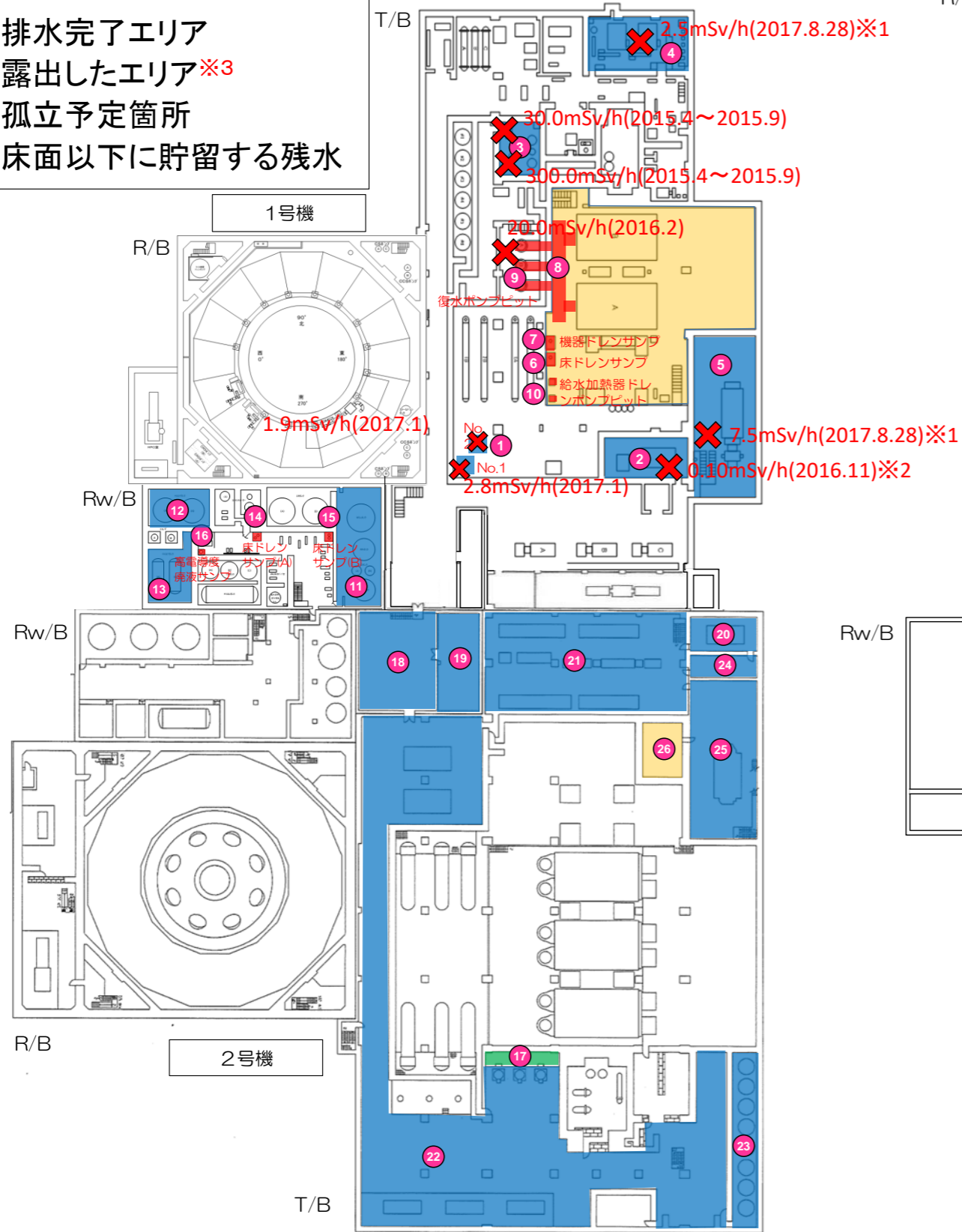
水位安定エリア等については線量測定が実施出来た場合、測定結果を記載している。

※1: 1階床面より3m程度挿入した箇所にて測定

※2: 作業エリアである1階床面で測定

※3: 孤立すると予想したエリアだが連通が確認されたため、建屋に滞留する滞留水のまま判断したエリア

- : 排水完了エリア
- : 露出したエリア※3
- : 孤立予定箇所
- : 床面以下に滞留する残水



## 福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

実施計画 記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 <sup>※1, 11, 12</sup>	保管容量 <sup>※1, 12</sup>	管理方法		主要 核種
							実施内容 <sup>※9</sup>	頻度	
Ⅲ 第1編 39条 第2編 87条の2	瓦礫類	・地震、津波、水素爆発により飛散した瓦礫 ・フォールアウトにより汚染した設備・資機材で廃棄する物（建屋、制御盤、廃車両等） ・設備の点検・工事により発生する交換品等（ポンプ、バルブ、配管、フランジタンク等） ・設備運転に伴い発生する消耗品等（空調フィルタ等） ・工事等のため構内に持ち込んだ消耗品（梱包材、型枠、セメント用空袋等） ・回収した土壌	屋外	・屋外集積（～0.1mSv/h）	232,400 m <sup>3</sup> [ +2,500 m <sup>3</sup> ]	266,300 m <sup>3</sup> ( 299,000 m <sup>3</sup> )	・人が容易に立ち入れないよう区画 ・巡視を行い、容器の転倒、落下や養生シートに破れがないこと、その他異常が無いことを確認	—	Cs-137 Cs-134 等 <sup>※7</sup>
				・シート養生（～1mSv/h）	46,300 m <sup>3</sup> [ +1,900 m <sup>3</sup> ]	50,700 m <sup>3</sup> ( 77,400 m <sup>3</sup> )		週1回	
				・覆土式一時保管施設、容器収納（1mSv/h～30mSv/h）	16,900 m <sup>3</sup> [ 0 m <sup>3</sup> ]	17,900 m <sup>3</sup> ( 18,500 m <sup>3</sup> )		週1回	
			固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納	27,600 m <sup>3</sup> [ +300 m <sup>3</sup> ]	39,600 m <sup>3</sup> ( 64,700 m <sup>3</sup> )		6ヶ月に1回 <sup>※2</sup>	
	瓦礫類の合計				323,300 m <sup>3</sup> [ +4,700 m <sup>3</sup> ]	374,400 m <sup>3</sup> ( 459,500 m <sup>3</sup> )	・槽内の溜まり水の有無を確認（覆土式一時保管施設）	週1回	
	使用済保護衣等	・タイバック ・下着類 ・ゴム手袋 ・その他保護衣、保護具	屋外	・容器収納	29,000 m <sup>3</sup> [ +1,000 m <sup>3</sup> ]	52,500 m <sup>3</sup> ( 58,700 m <sup>3</sup> )	・煙、水蒸気、濁り水（黒・茶色）、空気の揺らぎが発生していないこと（屋外集積の伐採木）	週1回 <sup>※3</sup>	
			建屋	・袋詰め					
	伐採木	・枝葉根	屋外	・伐採木一時保管槽	37,300 m <sup>3</sup> [ 0 m <sup>3</sup> ]	41,600 m <sup>3</sup>	・伐採木一時保管槽における温度監視	週1回 <sup>※3</sup>	
				・屋外集積	900 m <sup>3</sup> [ 微増 m <sup>3</sup> ]	6,000 m <sup>3</sup>		・保管量を確認し、保管容量が確保されていることを確認	
		・幹根	101,600 m <sup>3</sup> [ -700 m <sup>3</sup> ]	128,000 m <sup>3</sup>					
伐採木の合計				139,800 m <sup>3</sup> [ -700 m <sup>3</sup> ]	175,600 m <sup>3</sup> ( 175,600 m <sup>3</sup> )	—			
Ⅲ 第1編 40条 第2編 87条の3	水処理二次廃棄物（水処理により放射性物質を濃縮した廃棄物）	凝集沈殿物	廃スラッジ貯蔵施設	・造粒固化体貯槽【除染装置】	472 m <sup>3</sup> [ +34 m <sup>3</sup> ]	700 m <sup>3</sup>	・免震重要棟にて液位を監視し、漏えいの有無を監視	常時	
			使用済セシウム吸着塔一時保管施設	・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】（最大約13mSv/h）	3,969 本 [ +14 本 ]	4,192 本	・人が容易に立ち入れないよう区画 ・空間線量率を測定し表示	—	
		・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】（最大約23mSv/h）				・巡視を行い、コンクリート製ボックスカルバート等に異常が無いことを確認	—		
		・吸着塔【第二セシウム吸着装置、第三セシウム吸着装置、高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備】（最大約1.2mSv/h）		381 本 [ 0 本 ]	584 本		・貯蔵量を確認し、貯蔵可能容量が確保されていることを確認	週1回	
		・処理カラム【多核種除去設備】（最大約0.2mSv/h）				瓦礫類に含む		瓦礫類と同様	
		・吸着塔【セシウム吸着装置、モバイル式処理装置、モバイル型Sr除去装置、第二モバイル型Sr除去装置、サブドレン他浄化装置、高性能多核種除去設備検証試験装置】（最大約250mSv/h）		978 本 [ +2 本 ]	1,596 本		瓦礫類に含む		瓦礫類と同様
		・容器収納【モバイル型Sr除去装置】（最大約0.5mSv/h）				瓦礫類に含む		瓦礫類と同様	
		・フィルタ	屋外	・容器収納【高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備】（最大約0.5mSv/h）			瓦礫類に含む		瓦礫類と同様
		RO装置のフィルタ類	固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納【サブドレン他浄化装置】				瓦礫類に含む	
			・樹脂	屋外	・容器収納【SFP塩分除去装置】（最大十数mSv/h）				
				・容器収納【雨水処理設備等】（1mSv/h未満）					
				・容器収納【SFP塩分除去装置】（最大十数mSv/h）					
				・容器収納【雨水処理設備等】（最大2mSv/h）					

福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

実施計画 記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 <sup>※1, 11, 12</sup>	保管容量 <sup>※1, 11, 12</sup>	管理方法		主要 核種	
							実施内容 <sup>※9</sup>	頻度		
Ⅲ 第1編 38条 第2編 87条	放射性固 体廃棄物 等	・震災前に発生した放射性固体廃棄物	固体廃棄 物貯蔵庫	・ドラム缶収納	ドラム缶 175,661 本	ドラム缶 (約318,500 本相当)	・巡視による保管状況の確認及び保管量 の確認	月1回	Co-60 等	
				・その他	ドラム缶 10,155 本					
		・震災後に発生した放射性固体廃棄物 (焼却灰等)	・ドラム缶収納	2,745 本 [ +10 本 ]						
		・使用済制御棒等	サイトバ ンカ	・水中保管	12,125 本 193 m <sup>3</sup> <sup>※4</sup>	—		・事故前の保管量の推定値により確認		3ヶ月に1 回
								・プール水位の確認		月1回
		・イオン交換樹脂、造粒固化体	タンク等	・タンク等に貯蔵	3,543 m <sup>3</sup> <sup>※5</sup>	—		・貯蔵量の確認 <sup>※8</sup>		3ヶ月に1 回
・貯蔵状況の確認 <sup>※8</sup>	タンクに より異な る									
・使用済制御棒等	使用済燃 料プール	・水中貯蔵	11,422 本 <sup>※6</sup>	—	・使用済燃料共用プールの巡視	月1回				
					・使用済燃料共用プールの貯蔵量の確認	3ヶ月に1 回				
— <sup>※10</sup>	瓦礫等	・回収した土壌	-	・シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	—	15,500 m <sup>3</sup> [ -100 m <sup>3</sup> ]	・人が容易に立ち入れないよう区画 ・空間線量率を測定し表示	—	Cs-134 Cs-137 等	
										・回収した土壌以外の瓦礫等
		建屋	・屋内集積、シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	—	800 m <sup>3</sup> [ 0 m <sup>3</sup> ]					
	水処理二 次廃棄物	・樹脂、ゼオライト、RO膜等	-	・容器収納、容器収納の上 シート養生	—					100 m <sup>3</sup> [ 0 m <sup>3</sup> ]
仮設集積の合計				—	66,200 m <sup>3</sup> [ -400 m <sup>3</sup> ]				Cs-137 Cs-134 Sr-90等	

※1 瓦礫類、使用済保護衣等、伐採木、仮設集積物、震災後に発生した放射性固体廃棄物（焼却灰等）は2022年3月31日現在、水処理二次廃棄物は2022年3月31日現在の保管量及び保管容量である。尚、瓦礫類、使用済保護衣等及び伐採木の下段に（ ）で記載している保管容量は、実施計画（2021年11月11日認可）に記載している保管容量である。

※2 屋外集積及びシート養生の瓦礫類、使用済保護衣等、並びに屋外集積の伐採木は、3ヶ月に1回。

※3 6月～9月は、1週間に3回。

※4 2021年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒：1,167本、チャンネルボックス：9,818本、ヒューエルサポート：3本、中性子検出器：1,137本、その他（シュラウド切断片等）：193m<sup>3</sup>。

※5 2021年3月末時点の保管量。内訳は、イオン交換樹脂：2,395m<sup>3</sup>、造粒固化体：1,148m<sup>3</sup>。

※6 2021年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒：281本、チャンネルボックス：10,539本、ポイズンカーテン：173本、ヒューエルサポート：54本、中性子検出器：375本。

※7 廃棄物の処理・処分に必要となる、廃棄物の性状把握のため、汚染水、瓦礫類、伐採木及び立木について、放射能濃度分析を実施しており、今後も継続する。分析した試料の中には、C-14（半減期：約5.7×10<sup>3</sup>年）、Ni-63（半減期：約1.0×10<sup>2</sup>年）、Se-79（半減期：約1.1×10<sup>6</sup>年）、Tc-99（半減期：約2.1×10<sup>5</sup>年）、I-129（半減期：約1.6×10<sup>7</sup>年）等が検出されているものがある。

※8 1～4号機廃棄物処理建屋等の水没や高線量の理由によりアクセスできないタンクについてはこの限りではない。

※9 アンダーラインの実施内容は、実施計画（2021年11月11日認可）に未記載。

※10 仮設集積しているのは、伐採木、土壌、水処理二次廃棄物等であり、QJ-54・1F-R5-002 瓦礫等管理要領に基づき、ロープや柵等の区画を行い、立ち入りを制限する標識を掲示する措置を講じている。

※11 [ ]は、当該の報告とその前月との差を示している。

※12 一部の値について端数処理で100m<sup>3</sup>未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。また、50m<sup>3</sup>未満の増減を微増・微減と示している。

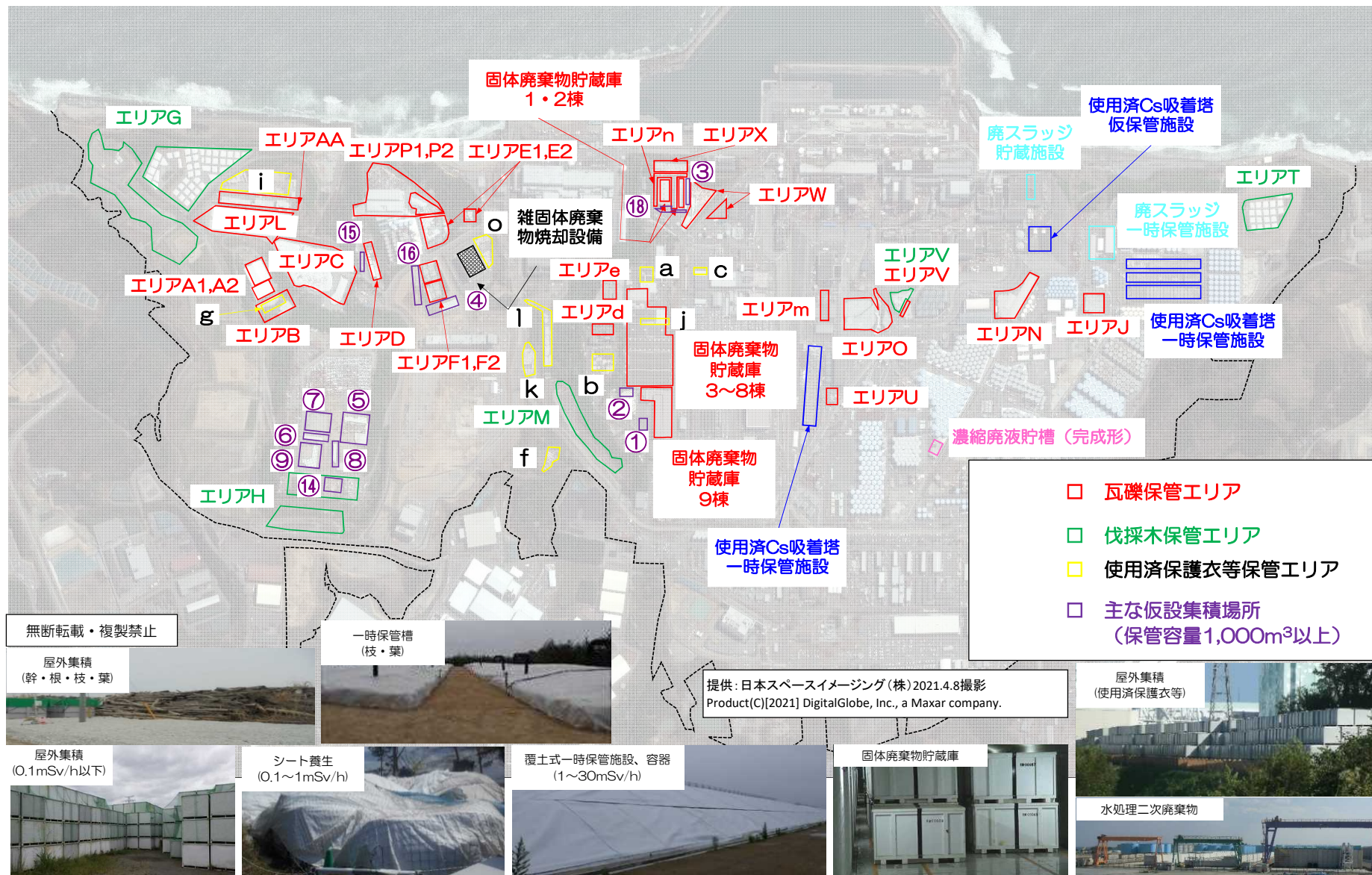
ガレキの保管量の現状<sup>※1, 2, 3</sup>

保管形態	受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア 名称	保管容量	保管量	前回比	保管容量合計	保管量合計	2021年度末 想定保管量 <sup>※4</sup>
屋外集積 (~0.1mSv/h)	≦0.001	AA	36,400 m <sup>3</sup>	21,100 m <sup>3</sup>	+500 m <sup>3</sup>	266,300 m <sup>3</sup>	232,400 m <sup>3</sup>	262,200 m <sup>3</sup>
	≦0.005	A2	9,500 m <sup>3</sup>	- m <sup>3</sup> <sup>※5</sup>	- m <sup>3</sup> <sup>※5</sup>			
		J	6,300 m <sup>3</sup>	6,200 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
	≦0.01	A1	4,300 m <sup>3</sup>	- m <sup>3</sup> <sup>※5</sup>	- m <sup>3</sup> <sup>※5</sup>			
		B	5,300 m <sup>3</sup>	5,300 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
		C	31,000 m <sup>3</sup>	31,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
	≦0.025	C	35,000 m <sup>3</sup>	34,600 m <sup>3</sup>	+300 m <sup>3</sup>			
	≦0.028	U	800 m <sup>3</sup>	700 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
	≦0.1	C	1,000 m <sup>3</sup>	1,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
		F2	6,400 m <sup>3</sup>	6,400 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
		N	9,700 m <sup>3</sup>	9,600 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
		O	44,100 m <sup>3</sup>	44,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
		P1	62,700 m <sup>3</sup>	61,900 m <sup>3</sup>	微増 m <sup>3</sup>			
		V	6,000 m <sup>3</sup>	6,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
d		1,200 m <sup>3</sup>	1,200 m <sup>3</sup>	+100 m <sup>3</sup>				
e	6,700 m <sup>3</sup>	3,400 m <sup>3</sup>	+1,600 m <sup>3</sup>					
シート養生 (~1mSv/h)	≦0.3	D	2,700 m <sup>3</sup>	2,600 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	50,700 m <sup>3</sup>	46,300 m <sup>3</sup>	73,700 m <sup>3</sup>
	≦1	E1	15,400 m <sup>3</sup>	14,700 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
		P2	6,700 m <sup>3</sup>	5,900 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
		W1	11,600 m <sup>3</sup>	10,500 m <sup>3</sup>	+1,000 m <sup>3</sup>			
		W2	0 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
		X	7,900 m <sup>3</sup>	7,900 m <sup>3</sup>	+1,700 m <sup>3</sup>			
		m	3,100 m <sup>3</sup>	2,600 m <sup>3</sup>	+100 m <sup>3</sup>			
n	3,300 m <sup>3</sup>	2,100 m <sup>3</sup>	-800 m <sup>3</sup>					
覆土式一時保管施設、容器収納 (1mSv/h~30mSv/h)	≦10	F1	700 m <sup>3</sup>	300 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	17,900 m <sup>3</sup>	16,900 m <sup>3</sup>	33,000 m <sup>3</sup>
	≦30	E2	1,200 m <sup>3</sup>	600 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
		L	16,000 m <sup>3</sup>	16,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			

仮設集積の管理状況<sup>※1, 2</sup>

分類	場所	保管容量	保管量	前回比
仮設集積 <sup>※6</sup>	①	3,000 m <sup>3</sup>	2,700 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	②	3,000 m <sup>3</sup>	3,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	③	2,000 m <sup>3</sup>	1,000 m <sup>3</sup>	-900 m <sup>3</sup>
	④	12,000 m <sup>3</sup>	10,100 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	⑤	14,000 m <sup>3</sup>	12,700 m <sup>3</sup>	-800 m <sup>3</sup>
	⑥	4,000 m <sup>3</sup>	2,600 m <sup>3</sup>	-200 m <sup>3</sup>
	⑦	9,000 m <sup>3</sup>	7,700 m <sup>3</sup>	+500 m <sup>3</sup>
	⑧	4,500 m <sup>3</sup>	3,500 m <sup>3</sup>	微増 m <sup>3</sup>
	⑨	1,500 m <sup>3</sup>	1,500 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	⑩			
	⑪			
	⑫			
	⑬			
	⑭	2,200 m <sup>3</sup>	2,200 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	⑮	2,000 m <sup>3</sup>	2,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	⑯	5,600 m <sup>3</sup>	2,800 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	⑰			
	⑱	1,100 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	-900 m <sup>3</sup>

※1 瓦礫類、仮設集積物は2022年3月31日現在の保管量及び保管容量である。保管容量は運用上の上限を示している。  
 ※2 一部の値について端数処理で100m<sup>3</sup>未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。また、50m<sup>3</sup>未満の増減を微増・微減と示している。  
 ※3 各受入目安線量率において、固体廃棄物貯蔵庫の保管量は除いて記載。  
 ※4 瓦礫類の想定保管量は、実施計画（2021年11月11日認可）の予測値を示している。  
 ※5 エリアA1及びA2は低線量エリアとした（2020年1月6日認可）が、移行期間のため「-」と記載。  
 ※6 保管容量が1,000m<sup>3</sup>以上の仮設集積場所について記載。



# 溜まり水のあるトレンチ等の対応状況について

2022年5月20日

**TEPCO**

---

東京電力ホールディングス株式会社

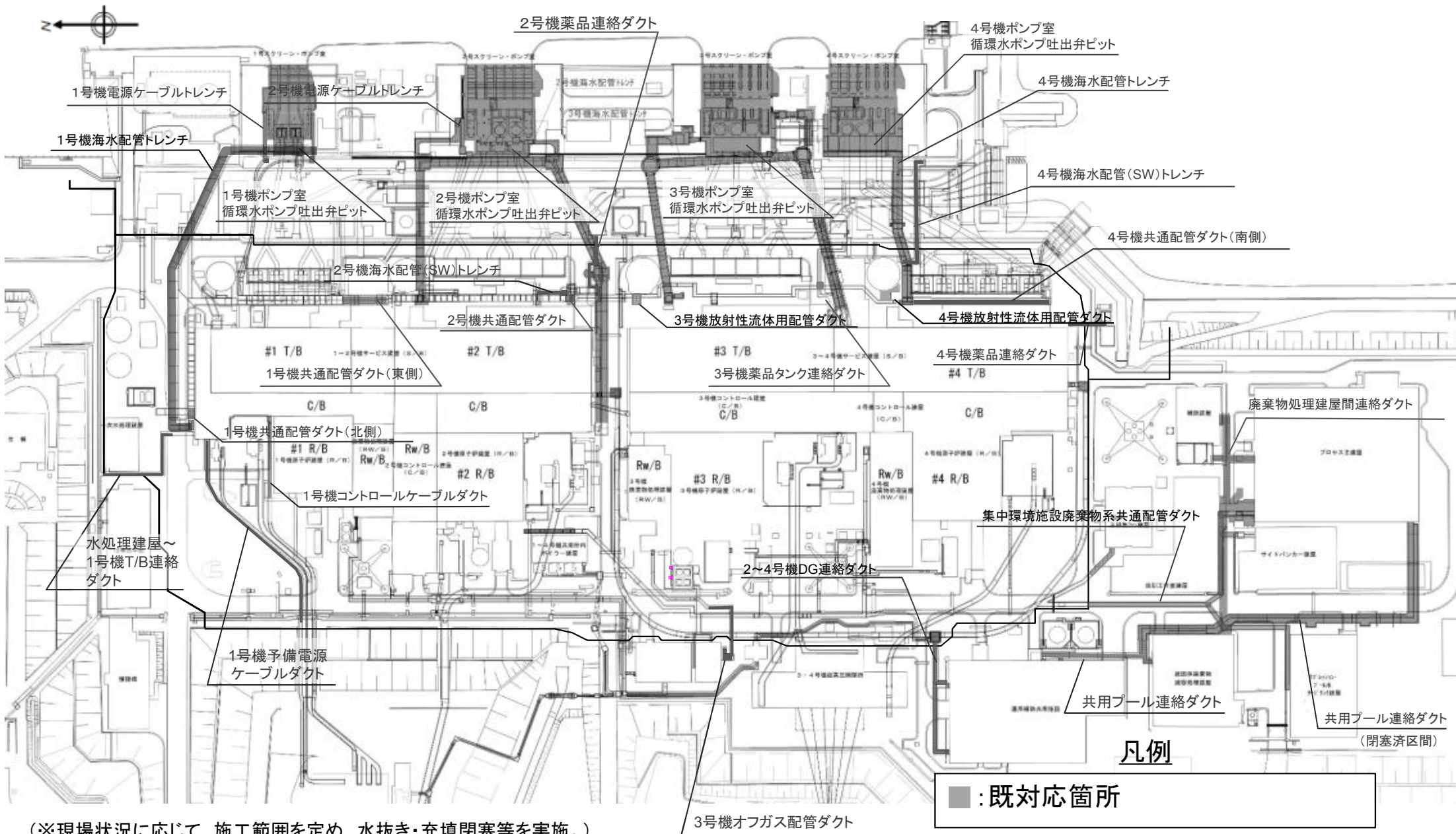


- 汚染水が流入する可能性があるトレンチ、ダクト並びにピットのうち、滞留水があるもしくは過去に滞留水があった建屋に接続しているトレンチ等40箇所、滞留水があるもしくは過去に滞留水があった建屋に接続していないトレンチ等61箇所、5・6号機周辺及びその他トレンチ等55箇所 計156箇所について点検を実施。（点検実施期間：2021.12～2022.2）
- その結果、溜まり水が確認された設備は建屋に接続しているトレンチ等9箇所、建屋に接続していないトレンチ等13箇所、5・6号機周辺及びその他トレンチ等22箇所の計44箇所。
- 溜まり水のCs濃度はすべてC区分であり、既往の調査からの有意な変化はない。

状況区分	溜まり水の放射性物質濃度区分 (Cs濃度単位：Bq/L)		2021年度点検結果		
			建屋接続	建屋未接続	5・6号機
溜まり水あり	10 <sup>6</sup> レベル以上	A	0	0	0
	10 <sup>5</sup> レベル	B	0	0	0
	10 <sup>4</sup> レベル	C	0	0	0
	10 <sup>3</sup> レベル		2	1	0
	10 <sup>2</sup> レベル以下		6	12	22
	測定できず		1※1	0	0
溜まり水なし		9	14	30	
調査困難		5	30	2	
対策完了		17	4	1	
計		40	61	55	

※1 陸側遮水壁の影響により採水ができない箇所

# トレンチの対応状況 (平面図)



(※現場状況に応じて、施工範囲を定め、水抜き・充填閉塞等を実施。)

1~4号機建屋周辺トレンチ平面図

【参考】 これまでに充填・閉塞等の対応を行ったトレンチ（一覧）①

No.	名 称	完了時期
1-15	2号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	2012年 4月
1-24	3号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	2012年 5月
1-34	共用プール連絡ダクト（高濃度汚染水確認範囲）	2013年 2月
1-11	1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	2015年11月
1-32	4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	2015年11月
1-39	4号機海水配管トレンチ	2015年12月
1-9	1号機コントロールケーブルダクト※	2016年 3月
1-37	廃棄物処理建屋間連絡ダクト※	2016年 6月
1-18	2号機海水配管（SW）トレンチ	2016年 6月
1-4	1号機電源ケーブルトレンチ（T.P.+2.5m）※	2016年 7月
1-25	3号機オフガス配管ダクト（北側）※	2016年 8月
1-1	水処理建屋～1号機T/B連絡ダクト	2016年 8月
1-5	1号機予備電源ケーブルダクト	2016年 9月
1-30	4号機薬品タンク連絡ダクト	2016年10月
1-20	2号機薬品タンク連絡ダクト	2016年11月
1-40	共用プール連絡ダクト	2016年12月
1-31	4号機海水配管（SW）トレンチ	2016年12月
1-36	4号機共通配管ダクト（南側）	2016年12月

（※ 部分充填）

【参考】 これまでに充填・閉塞等の対応を行ったトレンチ（一覧）②

No.	名 称	完了時期
1-14	2号機共通配管ダクト※	2017年 6月
1-37	廃棄物処理建屋間連絡ダクト	2017年 7月
1-7	1号機共通配管ダクト（北側）※	2017年 9月
1-8	1号機共通配管ダクト（東側）	2017年 9月
1-9	1号機海水配管トレンチ※	2018年 7月
1-17	2号機電源ケーブルトレンチ※	2018年 8月
1-8	1号機共通配管ダクト（東側）※	2018年 9月
1-33	集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト※	2019年 5月
1-12	2～4号機DG連絡ダクト※	2019年 9月
1-22	3号機放射性流体用配管ダクト	2019年12月
1-29	4号機放射性流体用配管ダクト	2020年 3月
1-23	3号機薬品タンク連絡ダクト※	2021年 9月

（※ 部分充填）

## 福島第一原子力発電所のトレンチ内で発見された 放射性物質を含む溜まり水の点検について（2021年度）

2011年（平成23年）12月18日、共用プール連絡ダクトにおいて、高濃度の放射性物質を含む溜まり水を発見したことを受けて、2011年（平成23年）12月19日、経済産業省原子力安全・保安院より「福島第一原子力発電所のトレンチ内で発見された放射性物質を含む溜まり水の対応について（指示）」を受領し、年1回の調査結果を報告しております。

2021年度のトレンチ等内の溜まり水調査結果が取り纏まりましたので、報告致します。

### <報告事項>

- ・2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果
- ・2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果の一覧表及び平面図
- ・今後の対応

### ・トレンチ等内の溜まり水の点検結果について

今回のトレンチ等内の溜まり水の点検は、福島第一原子力発電所敷地内の汚染水が流れ込む可能性のあるトレンチ、ダクト並びにピット（以下、トレンチ等とする）について行いました。

点検の対象は、①1～4号機周辺の滞留水があるもしくは過去に滞留水があった建屋に接続しているトレンチ等：40箇所、②1～4号機周辺の滞留水があるもしくは過去に滞留水があった建屋に接続していないトレンチ等：61箇所、③5・6号機周辺及びその他トレンチ等：55箇所の計156箇所とします。

- ① 1～4号機周辺の滞留水があるもしくは過去に滞留水があった建屋に接続しているトレンチ等：40箇所

点検の結果、9箇所のトレンチ等において溜まり水が確認されており、それらの溜まり水の放射性物質濃度（Cs）は、 $10^3\text{Bq/L}$ レベル以下となっています（別紙1-1参照）。

なお、2021年は、以下1設備の対応を完了しております。

- ・3号機薬品タンク連絡ダクト（部分充填）

- ② 1～4号機周辺の滞留水があるもしくは過去に滞留水があった建屋に接続していないトレンチ等：61箇所

点検の結果、13箇所のトレンチ等において溜まり水が確認されており、それらの溜まり水の放射性物質濃度（Cs）は、 $10^3\text{Bq/L}$ レベル以下となっています（別紙1-2参照）。

なお、2021年は、以下1設備の対応を完了しております。

- ・4号機逆洗弁ピット

- ③ 5・6号機周辺及びその他トレンチ等：55箇所

点検の結果、22箇所のトレンチ等において溜まり水が確認されており、それらの溜まり水の放射性物質濃度（Cs）は、 $10^2\text{Bq/L}$ レベル以下となっています（別紙1-3参照）。

なお、2021年は、以下1設備の対応を完了しております。

- ・5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット

## ・今後のトレンチ等の対応について

### 【溜まり水調査】

今年度報告したトレンチ等は、引き続き調査を実施するとともに、高線量エリアのためアクセスができない箇所や支障物により内部状況が確認できないものは、調査の可能性について検討を進めて行きます。取り纏めた調査結果は、年度末日途に報告致します。

### 【トレンチ等の溜まり水に対する対応】

未対策のトレンチ等の溜まり水に対する対応は、”溜まり水の放射性物質濃度に応じた対応措置（参考資料の「表－1」）”に従って、2022年度も順次、水抜き等の措置を講ずるものとしします。

水抜き等の対応は、溜まり水の放射性物質濃度の他、溜まり水の量や移送手段、流入対策、被ばく対策等の施工性を勘案し、その計画を立案するものとしします。

(参考資料)

「福島第一原子力発電所のトレンチ内で発見された放射性物質を含む溜まり水の対応について（指示）」（平成23年12月19日付、平成23・12・19 原院第6号）

**【指示内容】**

今回、放射性物質を含む水がトレンチ内に大量に溜まっていることに鑑み、下記の措置を講じるとともに、その結果について対応を実施したのから速やかに当院に対し報告すること。

1. トレンチ内に溜まっている水を適切な管理が可能な設備に早急に移送すること。
2. トレンチ内に溜まっている水の流入経路を究明するとともに、止水対策を検討すること。
3. トレンチ内に溜まっている水に放射性物質が含まれていることについて原因究明を行うとともに、トレンチ内に放射性物質を含む水が流入しないよう再発防止対策を実施すること。
4. 他のトレンチ等に放射性物質を含む溜まり水が存在しないか、巡視・点検計画を策定し、実施すること。

上記の指示文書のうち、【指示内容】1.～3.のトレンチ（共用プール連絡ダクト）に対しては、溜まり水の移送、流入水の止水対策、並びに溜まり水の原因究明と再発防止対策について、平成24年3月30日に経済産業省原子力安全・保安院へ報告し、平成25年3月29日に対策工事が完了した。

また、【指示内容】4.の他のトレンチ等（共用プール連絡ダクト以外のトレンチ等）に対しては、溜まり水の点検結果について、平成24年3月30日に経済産業省原子力安全・保安院へ報告した。

**・溜まり水の放射性物質濃度（Cs）に応じた対応方針について（平成24年3月30日報告済）**

敷地内のトレンチ等には、地震直後の津波や開口部から流入した雨水等が溜まっていることが想定されるため、複数のトレンチ等で溜まり水が確認される可能性がある。その放射性物質濃度（Cs）は、1～4号機建屋周辺に設置しているサブドレンで観測されている過去最大の放射性物質濃度である $10^2\text{Bq/cm}^3$ レベル以下と想定される。一方、これを超える場合には、トレンチ等への高レベル放射性汚染水の流入の可能性が否定できない。

これを踏まえて、建屋内滞留水の処理・貯蔵への影響及び被ばく等を考慮して、溜まり水の放射性物質濃度（Cs）に応じた対応方針を表-1のとおりとする。

参考表－1 溜まり水の対応方針

溜まり水の放射性物質濃度 (Cs)	対応措置	溜まり水の区分
$10^6 \text{Bq/L}$ $[10^3 \text{Bq/cm}^3]$ レベル以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海への流出の有無及び流入経路の調査、溜まり水の移送、止水等の対策について検討し、速やかに報告の上、実施する。</li> <li>例えば、</li> <li>・既設移送ルートの流れ可否、増設検討、ポンプ設置箇所検討</li> <li>・図面確認（接続配管、建屋接続エレベーション等）、トレンチ等内部調査の可否検討</li> <li>・流入箇所への止水材注入、トレンチ等閉塞等の対策検討 など</li> </ul>	A
$10^5 \text{Bq/L}$ $[10^2 \text{Bq/cm}^3]$ レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被ばく等に配慮し、溜まり水の水位および放射性物質濃度の測定を定期的に行い、状態監視を行い、将来的には水抜き等の措置を行う。</li> <li>・状態監視の結果、高レベル放射性汚染水の流入の可能性がある場合は、海への流出の有無及び流入経路の調査、溜まり水の移送、止水等の対策について検討し、必要な対策を講じる。</li> </ul>	B
$10^4 \text{Bq/L}$ $[10^1 \text{Bq/cm}^3]$ レベル以下	<ul style="list-style-type: none"> <li>・念のため、高レベル放射性汚染水が滞留している建屋に接続するトレンチ等については、被ばく等に配慮して状態監視を行う。今後、その他のトレンチ等も含め、検討を進めて、将来的には水抜き等の措置を行う。</li> </ul>	C



2021年度 トレンチ等内 溜まり水調査結果一覧

・溜まり水調査結果一覧表【1/3】 (1~4号機周辺の滞留水があるもしくは過去に滞留水があった建屋に接続しているトレンチ等)

【別紙 1-1】

NO.	場所	今回調査 2022. 1月実施									
		溜まり水の有無	ボトル表面線量率 (μSv/h)	核種分析結果 (Bq/L)					溜まり水の区分※ <sup>8</sup>	概算溜まり水量	
				Cs-134	Cs-137	Cs計	全β	H-3		水位T.P.(O.P.)	水量(m <sup>3</sup> )
1- 1	水処理建屋~1号機T/B連絡ダクト	対策完了 2016. 8									
1- 2	1号機薬品タンク連絡ダクト	なし※ <sup>6</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 3	1号機放射性流体用配管ダクト	あり	0.2	2.5E+02	8.3E+03	8.5E+03	7.7E+03	7.6E+02	C	TP+0.674 (OP+2.110)	4
1- 4	1号機電源ケーブルトレンチ(OP+4.000)	対策完了 2016. 7									
1- 4	1号機電源ケーブルトレンチ(OP+7.000)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 5	1号機予備電源ケーブルダクト	対策完了 2016. 9									
1- 6	1号機海水配管トレンチ	あり※ <sup>3</sup>	0.2	<6.8E+00	4.1E+01	4.1E+01	4.5E+01	1.3E+02	C	TP+2.824 (OP+4.260)	408
1- 7	1号機共通配管ダクト(北側)	なし※ <sup>6</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 8	1号機共通配管ダクト(東側)	なし※ <sup>6</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 9	1号機コントロールケーブルダクト	あり	0.2	<7.4E+00	1.4E+02	1.4E+02	1.4E+02	<1.0E+02	C	TP+6.314 (OP+7.750)	167
1- 10	1号機ホットシャワードレンタンク連絡ダクト	—※ <sup>1</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 11	1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	対策完了 2015. 11									
1- 12	2~4号機DG連絡ダクト	あり	0.2	<8.4E+00	9.3E+01	9.3E+01	1.0E+02	<1.0E+02	C	TP+7.604 (OP+9.040)	1,595
1- 13	2号機放射性流体用配管ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 14	2号機共通配管ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 15	2号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	対策完了 2012. 4									
1- 16	2~3号機非常用電源ケーブル連絡ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 17	2号機電源ケーブルトレンチ	あり	0.2	2.4E+01	9.0E+02	9.2E+02	8.2E+02	5.0E+02	C	TP+3.804 (OP+5.240)	1
1- 18	2号機海水配管(SW)トレンチ	対策完了 2016. 6									
1- 19	NO. 2軽油配管トレンチ	あり	0.2	9.3E+00	1.9E+02	2.0E+02	2.0E+02	<1.0E+02	C	TP+6.265 (OP+7.701)	15
1- 20	2号機薬品タンク連絡ダクト	対策完了 2016. 11									
1- 21	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	—※ <sup>7</sup>	-	-	-	-	-	-	-	TP+7.134 (OP+8.570)	828
1- 22	3号機放射性流体用配管ダクト	対策完了 2019. 12									
1- 23	3号機薬品タンク連絡ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 24	3号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	対策完了 2012. 5									
1- 25	3号機オフガス配管ダクト(北側)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 26	3号機オフガス配管ダクト(南側)	あり	0.3	4.7E+01	1.3E+03	1.4E+03	1.6E+03	<1.2E+02	C	TP+6.150 (OP+7.586)	9
1- 27	重油配管トレンチ(3, 4号機東側)	あり	0.2	2.2E+01	5.7E+02	5.9E+02	6.6E+02	<1.2E+02	C	TP+8.207 (OP+9.643)	5
1- 28	3号機電源ケーブルトレンチ	—※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 29	4号機放射性流体用配管ダクト	対策完了 2020. 3									
1- 30	4号機薬品タンク連絡ダクト	対策完了 2016. 10									
1- 31	4号機海水配管(SW)トレンチ	対策完了 2016. 12									
1- 32	4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	対策完了 2015. 11									
1- 33	集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト	—※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 33	同上 (2号機廃棄物系共通配管ダクト)	—※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 33	同上 (2号機廃棄物系共通配管分岐ダクト)	—※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 34	共用プール連絡ダクト	対策完了 2013. 2									
1- 35	4号機オフガス配管ダクト	—※ <sup>1</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 36	4号機共通配管ダクト	対策完了 2016. 12									
1- 37	廃棄物処理建屋間連絡ダクト 廃棄物処理建屋間連絡ダクト(南側).20151203 廃棄物処理建屋間連絡ダクト(北側).20151203 廃棄物処理建屋間連絡ダクト(南側).20151208 廃棄物処理建屋間連絡ダクト(北側).20151208 廃棄物処理建屋間連絡ダクト(南側).20151216 廃棄物処理建屋間連絡ダクト(南側).20151222 廃棄物処理建屋間連絡ダクト(南側).20151228 廃棄物処理建屋間連絡ダクト(南側).20160106 廃棄物処理建屋間連絡ダクト(南側).20160113 廃棄物処理建屋間連絡ダクト(南側).20160120 廃棄物処理建屋間連絡ダクト(南側).20160127	対策完了 2017. 7									
1- 38	4号機電源ケーブルトレンチ	—※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 39	4号機海水配管トレンチ	対策完了 2015. 12									
1- 40	共用プール連絡ダクト	対策完了 2016. 12									
										計	3,032

※<sup>1</sup> 高線量エリアのためアクセスができない箇所

※<sup>2</sup> 支障物により内部状況が確認できない箇所

※<sup>3</sup> 支障物、対策済み等により採取場所を変更した箇所

※<sup>4</sup> 前回の水位測定箇所に溜まり水が無いため、測定箇所を変更した箇所

※<sup>5</sup> トレンチ(ダクト)内全線に溜まり水があり、採水場所を2箇所から1箇所に変更した箇所

※<sup>6</sup> 一部対策済みにより溜まり水が無い箇所

※<sup>7</sup> 凍土設備の凍結により溜り水の状況が確認できない箇所

※<sup>8</sup> 溜まり水区分 A: 10<sup>6</sup>Bq/LLレベル以上

(Cs計濃度) B: 10<sup>5</sup>Bq/LLレベル

C: 10<sup>4</sup>Bq/LLレベル以下

2021年度 トレンチ等内 溜まり水調査結果一覧

・溜まり水調査結果一覧表【2/3】（1～4号機周辺の溜まり水があるもしくは過去に溜まり水があった建屋に接続していないトレンチ等）【別紙1-2】

NO.	場所	今回調査 2022.1月実施											
		溜まり水の有無	ボトル表面検査率 (μSv/h)	核種分析結果(Bq/L)					溜まり水の区分 ※ <sup>8</sup>	概算溜まり水量			
				Cs-134	Cs-137	Cs計	全β	H-3		水位T.P.(O.P.)	水量(m <sup>3</sup> )		
2- 1	NO.1軽油配管トレンチ	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 2	1～2号機ケーブルダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 3	重油配管トレンチ(1号機PPゲート南側)	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 4	1号機ボイラー室電気品室連絡トレンチ	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 5	1～4号機発電機注入用窒素ガスボンベ室連絡トレンチ	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 6	重油配管トレンチ(1号機東側)	あり	0.2	<6.7E+00	2.8E+01	2.8E+01	4.6E+01	<1.2E+02	C	TP+2.214 (OP+3.850)	6		
2- 7	1号機主変圧器ケーブルダクト	あり	0.2	<8.8E+00	1.8E+02	1.8E+02	2.2E+02	<1.2E+02	C	TP+5.285 (OP+7.721)	518		
2- 8	1号機起動用変圧器ケーブルダクト	あり	0.2	1.0E+01	2.5E+02	2.6E+02	2.5E+02	<1.2E+02	C	TP+5.728 (OP+7.164)	292		
2- 9	1号機変圧器防炎用トレンチ	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 10	1号機廃液サージタンク連絡ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 11	1号機オフガス配管ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 12	1号機活性炭ホルダーアップダクト	あり	0.3	<6.5E+00	1.7E+01	1.7E+01	3.9E+01	<1.2E+02	C	TP+6.584 (OP+8.020)	221		
2- 13	1～4号機共用所内ボイラートレンチ	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 14	2号機主変圧器ケーブルダクト	あり	0.2	<6.0E+00	4.3E+01	4.3E+01	7.1E+01	<1.2E+02	C	TP+5.115 (OP+6.551)	604		
2- 15	2号機変圧器防炎用トレンチ	あり	0.2	<5.5E+00	3.5E+01	3.5E+01	1.3E+02	<1.2E+02	C	TP+7.664 (OP+9.100)	11		
2- 16	2号機オフガス配管ダクト	__※ <sup>1</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 17	2号機廃液サージタンク連絡ダクト	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 18	2～3号機共用所内ボイラートレンチ	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 19	2号機水素ガス配管トレンチ	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 20	消火配管トレンチ(2～3号機T/B間)	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 21	消火配管トレンチ(2号機T/B南西側)	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 22	消火配管トレンチ(2号機R/B南側)	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 23	3号機主変圧器ケーブルダクト	あり	0.2	<6.7E+00	5.2E+01	5.2E+01	6.0E+01	<1.2E+02	C	TP+4.924 (OP+6.360)	474		
2- 24	3号機変圧器防炎用トレンチ	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 25	3号機防炎用窒素配管トレンチ	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 26	3～4号機重油配管トレンチ	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 27	ユーティリティ配管ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 28	4号機海水配管(SW)埋設ダクト	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 29	4号機主変圧器ケーブルダクト	あり	0.3	<4.6E+00	2.3E+01	2.3E+01	1.9E+01	<1.2E+02	C	TP+7.404 (OP+8.840)	828		
2- 30	4号機変圧器防炎用トレンチ	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 31	No.4, 5軽油配管トレンチ	あり	0.1	<5.9E+00	5.6E+01	5.6E+01	7.8E+01	<1.2E+02	C	TP+8.314 (OP+9.750)	45		
2- 32	4号機西側電気関係連絡トレンチ	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 33	4号機別棟機械室連絡トレンチ	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 34	消火配管トレンチ(運用補助共用施設東側)	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 35	消火配管トレンチ(SPT建屋東側)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 36	消火配管トレンチ(SPT建屋北側)	あり	0.1	<3.5E+00	1.1E+01	1.1E+01	6.2E+01	<1.2E+02	C	TP+8.354 (OP+9.790)	14		
2- 37	消火配管トレンチ(重油タンク西側)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 38	消火配管トレンチ(2号機北西側)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 39	消火配管トレンチ(2号機西側)	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 40	酸素・水素配管トレンチ	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 41	消火配管トレンチ(2号機南西側)	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 42	消火配管トレンチ(共用所内ボイラー建屋西側)	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 43	消火配管トレンチ(3号機東側)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 44	消火配管トレンチ(3号機北側)	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 45	消火配管トレンチ(3号機西側)	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 46	消火配管トレンチ(3-4号機排気筒南側)	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 47	消火配管トレンチ(4号機北西側)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 48	消火配管トレンチ(運用補助共用施設北側)	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 49	消火配管トレンチ(4号機西側)	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 50	消火配管トレンチ(4号機南西側)	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 51	消火配管トレンチ(4号機南側)	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 52	消火配管トレンチ(放水口北側)	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 53	消火配管トレンチ(4号機東側)	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2-追加1	1号機逆洗弁ピット												
2-追加2	2号機逆洗弁ピット												
2-追加3	3号機逆洗弁ピット												
2-追加4	4号機逆洗弁ピット												
2-追加5	1号機放水路	あり	0.1	7.5E+01	2.3E+03	2.4E+03	2.9E+03	1.2E+02	C	TP+1.444 (OP+2.880)	5,219		
2-追加6	2号機放水路	あり	0.1	2.9E+01	8.7E+02	9.0E+02	1.2E+03	<1.0E+02	C	TP+1.544 (OP+2.980)	5,352		
2-追加7	3号機放水路	あり	0.2	1.8E+01	5.9E+02	6.1E+02	6.3E+02	1.3E+02	C	TP+1.644 (OP+3.080)	3,355		
2-追加8	4号機放水路	__※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
									計		16,939		

※<sup>1</sup> 高線量エリアのためアクセスができない箇所

※<sup>2</sup> 支障物により内部状況が確認できない箇所

※<sup>3</sup> 支障物、対策済み等により採取場所を変更した箇所

※<sup>4</sup> 前回の水位測定箇所に溜まり水が無いため、測定箇所を変更した箇所

※<sup>5</sup> トレンチ(ダクト)内全線に溜まり水があり、採水場所を2箇所から1箇所に変更した箇所

※<sup>6</sup> 一部対策済みにより溜まり水が無い箇所

※<sup>7</sup> 凍土設備の凍結により溜り水の状況が確認できない箇所

※<sup>8</sup> 溜まり水区分 A: 10<sup>6</sup>Bq/Lレベル以上

(Cs計濃度) B: 10<sup>5</sup>Bq/Lレベル

C: 10<sup>4</sup>Bq/Lレベル以下

2021年度 トレンチ等内 溜まり水調査結果一覧

・溜まり水調査結果一覧表(3/3) (5・6号機周辺及びその他トレンチ等)

[別紙 1-3]

NO.	場所	今回調査 2022. 1月実施									
		溜まり水の有無	表面線量率 ( $\mu\text{Sv/h}$ )	核種分析結果(Bq/L)					溜まり水の区分 ※5	概算溜まり水量	
				Cs-134	Cs-137	Cs計	全 $\beta$	H-3		水位T.P.(O.P.)	水量(m <sup>3</sup> )
対策完了 2021. 12											
3- 1	5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	—※1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 2	5号機電源ケーブルトレンチ(東側)	—※1	—	—	—	—	—	—	—	—	
	5号機電源ケーブルトレンチ(西側)	—※1	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 3	5号機共通配管ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 4	5号機海水配管トレンチ	あり	0.1	<9.0E-01	3.0E+00	3.0E+00	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+2.024 (OP+3.460)	554
	5号機海水配管トレンチ(SW系)東側	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
	5号機海水配管トレンチ(SW系)西側	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 5	5号機海水配管トレンチ(SW系)南側	あり※2	0.1	<1.1E+00	1.6E+01	1.6E+01	2.7E+01	<1.2E+02	C	TP+8.444 (OP+9.890)	55
	5号機海水配管トレンチ(SW系)北側	あり※2	0.2	1.3E+00	4.0E+01	4.1E+01	4.8E+01	<1.2E+02	C	TP+8.834 (OP+10.250)	6
3- 6	NO.3軽油配管トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 7	5号機重油配管トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 8	5・6号機スチームドレン配管トレンチ	あり	0.1	<8.6E-01	2.2E+00	2.2E+00	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+10.664 (OP+12.100)	7
3- 9	5号機薬品タンク連絡ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 10	サブレーションプール水配管トレンチ	あり	0.2	1.7E+00	5.1E+01	5.3E+01	6.0E+01	<1.2E+02	C	TP+9.764 (OP+11.200)	7
3- 11	共用サブレーションプール水サーージパイプダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 12	5号機重油配管トレンチ(東側)	—※1	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 13	5号機放射性流体用配管ダクト	あり	0.3	<8.8E-01	1.3E+00	1.3E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	上部)TP+7.704(OP+9.140) 下部)TP+1.843(OP+3.279)	14
3- 14	5号機主変圧器ケーブルダクト(東側)	あり※3	0.3	<9.0E-01	3.6E+00	3.6E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+8.234 (OP+9.670)	73
	5号機主変圧器ケーブルダクト(西側)	あり※3	0.2	<7.9E-01	2.2E+00	2.2E+00	<1.3E+01	<1.2E+02	C	TP+7.502 (OP+8.938)	96
3- 15	5号機起動用変圧器ケーブルダクト	あり	0.2	<8.7E-01	1.7E+00	1.7E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+8.234 (OP+9.670)	33
3- 16	5・6号機通信ケーブル管路	あり	0.2	<1.0E+00	7.2E+00	7.2E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+8.617 (OP+10.053)	2
3- 17	5号機重油配管トレンチ(南西側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 18	5号機西側電気関係連絡トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 19	5号機オフガス配管ダクト	あり	0.2	<7.8E-01	1.4E+01	1.4E+01	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+11.774 (OP+13.210)	10
3- 20	5号機廃棄物系共通配管ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 21	消火配管トレンチ(5号機西側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 22	消火配管トレンチ(5号機南側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 23	6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	あり	0.2	<1.1E+00	1.8E+00	1.8E+00	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+1.424 (OP+2.860)	940
3- 24	6号機電源ケーブルトレンチ(東側)	あり※3	0.2	<9.9E-01	2.6E+00	2.6E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+1.858 (OP+3.294)	346
	6号機電源ケーブルトレンチ(西側)	あり※3	0.2	<8.7E-01	9.4E-01	9.4E-01	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+3.067 (OP+4.503)	522
3- 25	6号機海水配管トレンチ(北側)東側	あり※3	0.8	<1.2E+00	2.0E+00	2.0E+00	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+2.414 (OP+3.850)	172
	6号機海水配管トレンチ(北側)西側	あり※3	0.3	<1.0E+00	4.5E+00	4.5E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+3.044 (OP+4.480)	383
	6号機海水配管トレンチ(南側)東側	あり※3	0.2	<8.3E-01	4.0E+00	4.0E+00	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+0.994 (OP+2.430)	106
3- 26	6号機海水配管トレンチ(南側)西側	あり※3	0.2	<9.3E-01	1.2E+01	1.2E+01	1.9E+01	<1.2E+02	C	TP+3.124 (OP+4.560)	368
	6号機海水配管トレンチ(SW系)南側	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 27	6号機海水配管トレンチ(SW系)西側	あり※2	0.2	<7.7E-01	3.6E+00	3.6E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+7.914 (OP+9.350)	33
	6号機海水配管トレンチ(SW系)北側	あり※2	0.2	<1.1E+00	6.2E+00	6.2E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+8.073 (OP+9.509)	84
3- 28	6号機薬品タンク連絡ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 29	6号機共通配管ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 30	6号機パイプダクト(ポンプ室～MGセット建屋)	あり	0.2	<9.0E-01	2.7E+00	2.7E+00	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+1.214 (OP+2.650)	141
3- 31	NO.6軽油配管トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 32	6号機DG連絡ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 33	6号機主変圧器ケーブルダクト(東側)	あり※4	0.3	<8.1E-01	<8.8E-01	ND	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+8.554 (OP+9.990)	589
	6号機主変圧器ケーブルダクト(西側)	あり※4	0.1	<6.6E-01	2.2E+00	2.2E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+2.952 (OP+4.388)	10
3- 34	非常用ガス処理配管ダクト	あり	0.2	1.4E+00	4.2E+01	4.3E+01	4.9E+01	<1.2E+02	C	TP+2.952 (OP+4.388)	10
3- 35	6号機西側電気関係連絡トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 36	6号機放射性流体用配管ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 37	6号機オフガス配管ダクト	あり	0.3	<2.0E+00	2.5E+01	2.5E+01	3.1E+01	<1.2E+02	C	TP+11.886 (OP+13.322)	5
3- 38	6号機廃棄物系共通配管ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 39	消火配管トレンチ(6号機西側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 40	旧事務本館北側トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 41	水処理配管トレンチ(事務本館東側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 42	水処理配管トレンチ(ろ過水タンク東側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 43	水処理配管トレンチ(事務本館北側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 44	水処理配管トレンチ(中央交差点東側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 45	水処理配管トレンチ(ふれあい交差点北東側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 46	5号機酸素・炭酸ガス配管トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 47	消火配管トレンチ(5号機南西側)	あり	0.3	<6.9E-01	3.4E+00	3.4E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+9.984 (OP+11.420)	5
3- 48	消火配管トレンチ(排気筒南側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 49	消火配管トレンチ(排気筒北側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 50	消火配管トレンチ(6号機北西側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 51	消火配管トレンチ(6号機北側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 52	消火配管トレンチ(6号機北東側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	
3- 53	5・6号機変圧器防災配管トレンチ(南側)	あり	0.2	<8.2E-01	<1.1E+00	ND	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+10.844 (OP+12.280)	3
3- 54	5・6号機変圧器防災配管トレンチ(北側)	あり	0.2	<1.0E+00	1.4E+00	1.4E+00	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+10.554 (OP+11.990)	1
3- 追加)	5・6号機試験掘坑	あり	0.2	<7.5E-01	9.7E-01	9.7E-01	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+7.874 (OP+9.310)	1.869
計										6.434	

※1 支障物により内部状況が確認できない箇所

※2 単体の構造で構築されてる箇所

※3 トレンチ内部で2箇所に分かれ溜まり水が確認された箇所

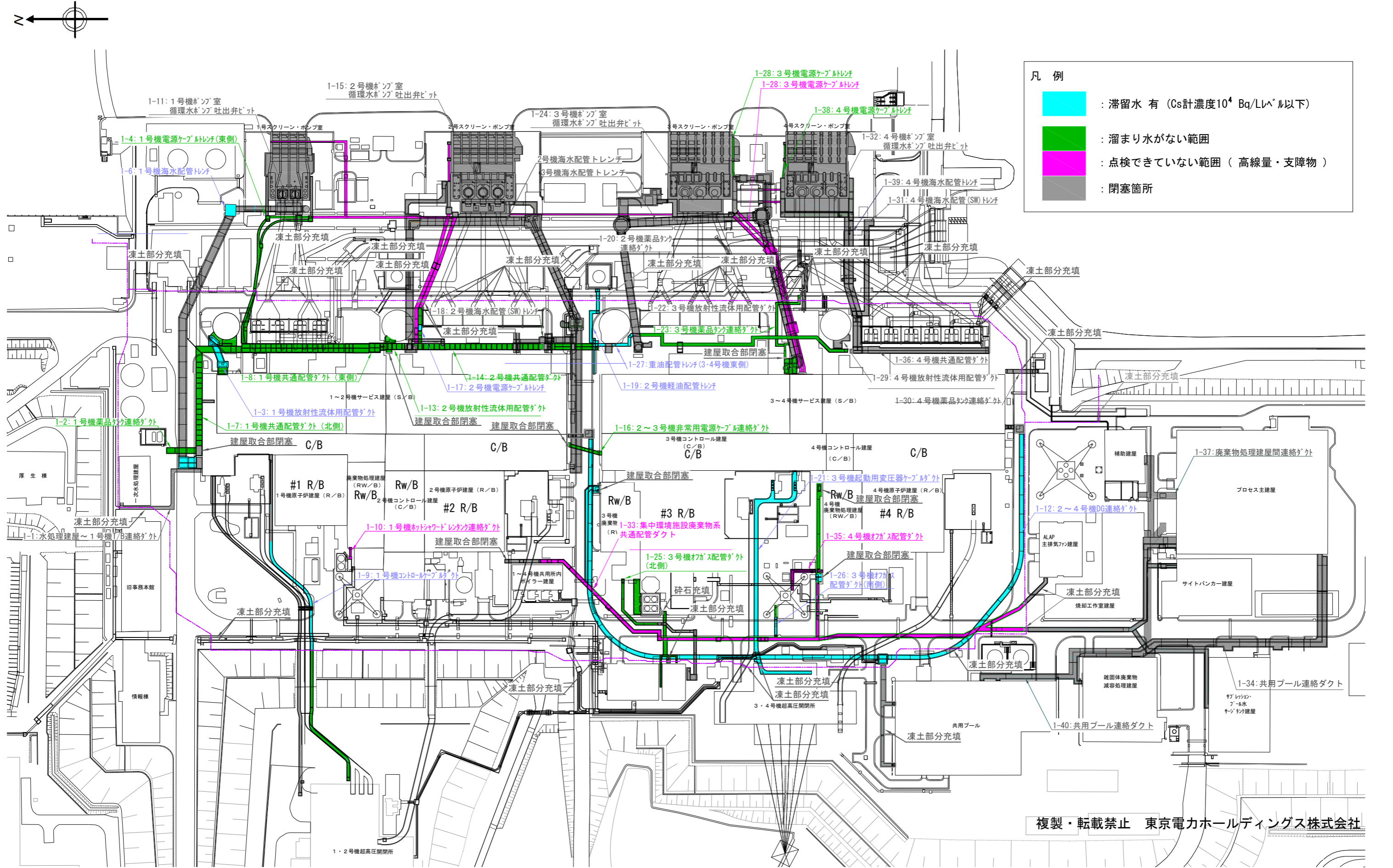
※4 昨年度調査結果を基に、トレンチ内部に2箇所溜まり水が確認されてきたことから、追加にて西側からの採水も実施(西側採水実施後、今回の東側水位計測結果を確認したところ、昨年度より水位が上がっておりトレンチ内全域に溜まり水のあることが確認された)

※5 溜まり水区分 A: 10<sup>6</sup>Bq/Lレベル以上

(Cs計濃度) B: 10<sup>5</sup>Bq/Lレベル

C: 10<sup>4</sup>Bq/Lレベル以下

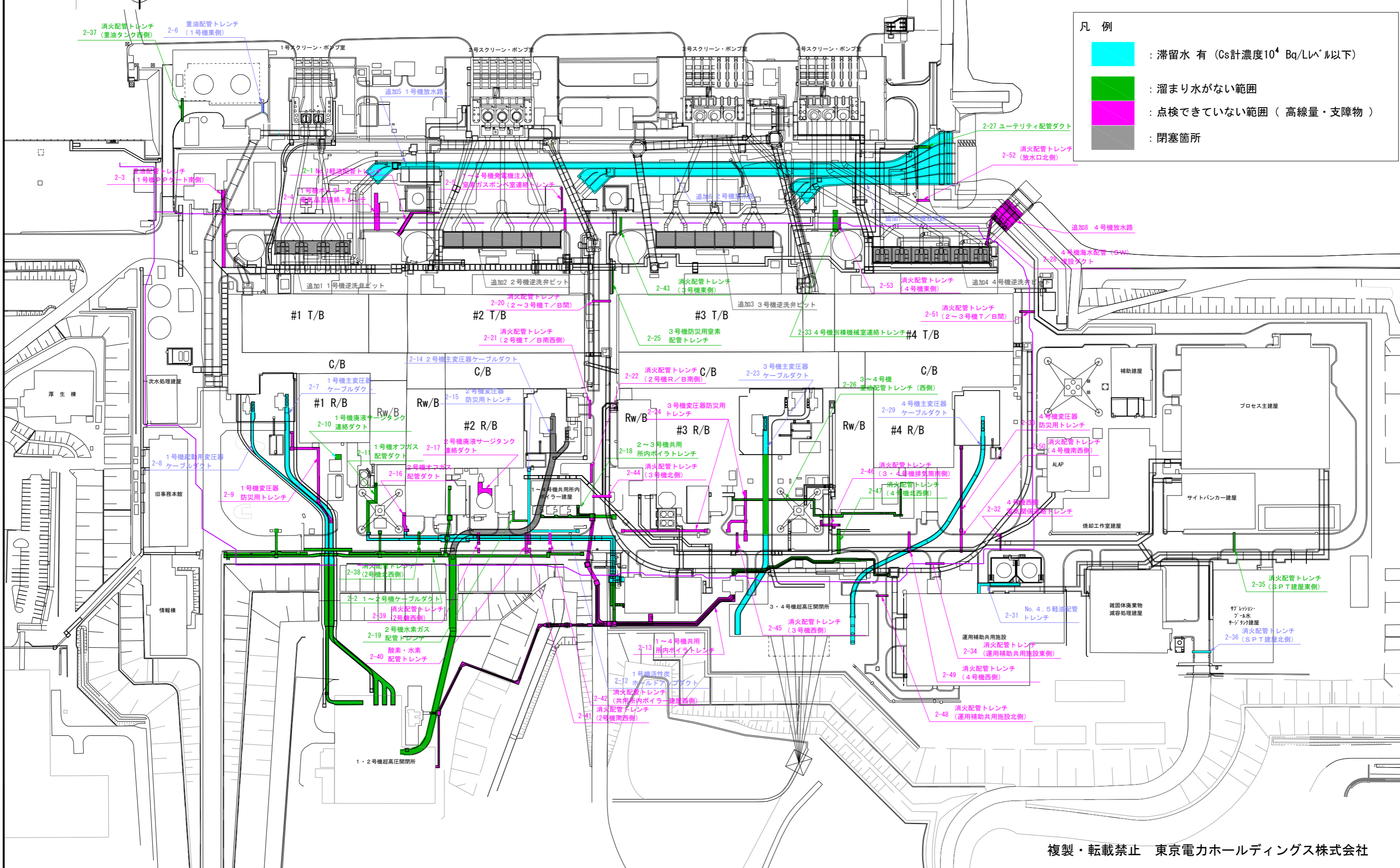
# 1～4号機周辺の滞留水があるもしくは過去に滞留水があった建屋に接続しているトレンチ等 (平面図)



凡例

	: 滞留水 有 (Cs計濃度 $10^4 \text{ Bq/L}$ 以下)
	: 溜まり水がない範囲
	: 点検できていない範囲 (高線量・支障物)
	: 閉塞箇所

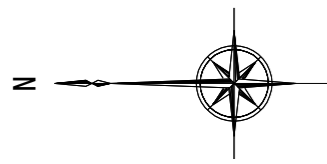
# 1～4号機周辺の滞留水があるもしくは過去に滞留水があった建屋に接続していないトレンチ等 (平面図)



凡例

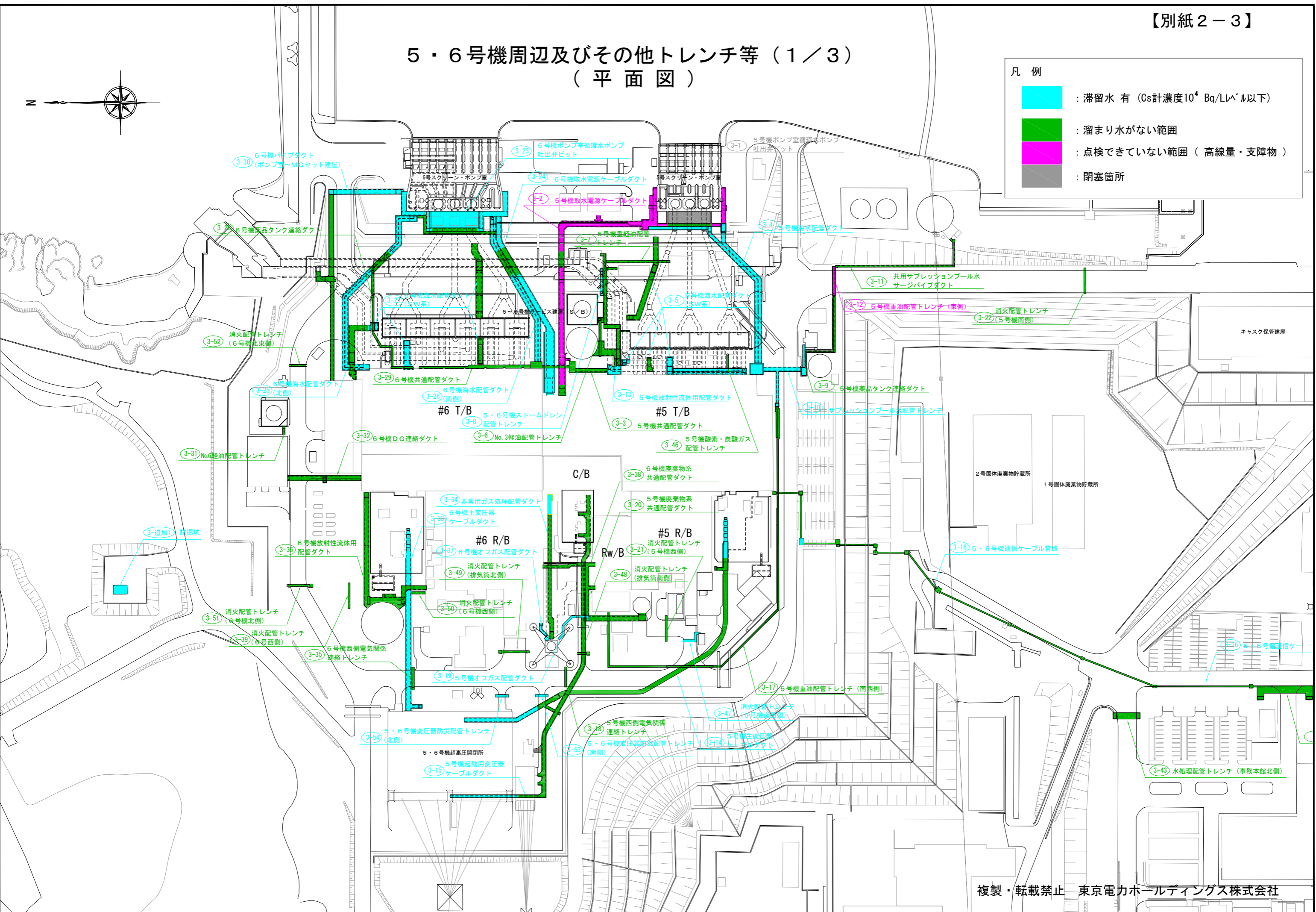
- : 滞留水有 (Cs計濃度 $10^4$  Bq/L以下)
- : 溜まり水がない範囲
- : 点検できていない範囲 (高線量・支障物)
- : 閉塞箇所

# 5・6号機周辺及びその他トレンチ等 (1/3) (平面図)

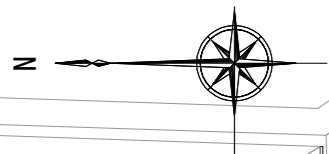


### 凡例

- : 滞留水有 (Cs計濃度 $10^4$  Bq/Lレベル以下)
- : 溜まり水がない範囲
- : 点検できていない範囲 (高線量・支障物)
- : 閉塞箇所



# 5・6号機周辺及びその他トレンチ等 (2/3) (平面図)



キャスク保管建屋

厚生棟

次水処理建屋

C/B

#1 R/B

Rw/E

体廃棄物貯蔵所

研修棟

3-40 旧事務本館北側トレンチ

旧事務本館





情報棟

3-16 5・6号機通信ケーブル管路

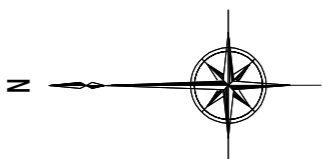
3-41 水処理配管トレンチ (事務本館東側)

3-43 水処理配管トレンチ (事務本館北側)





凡例

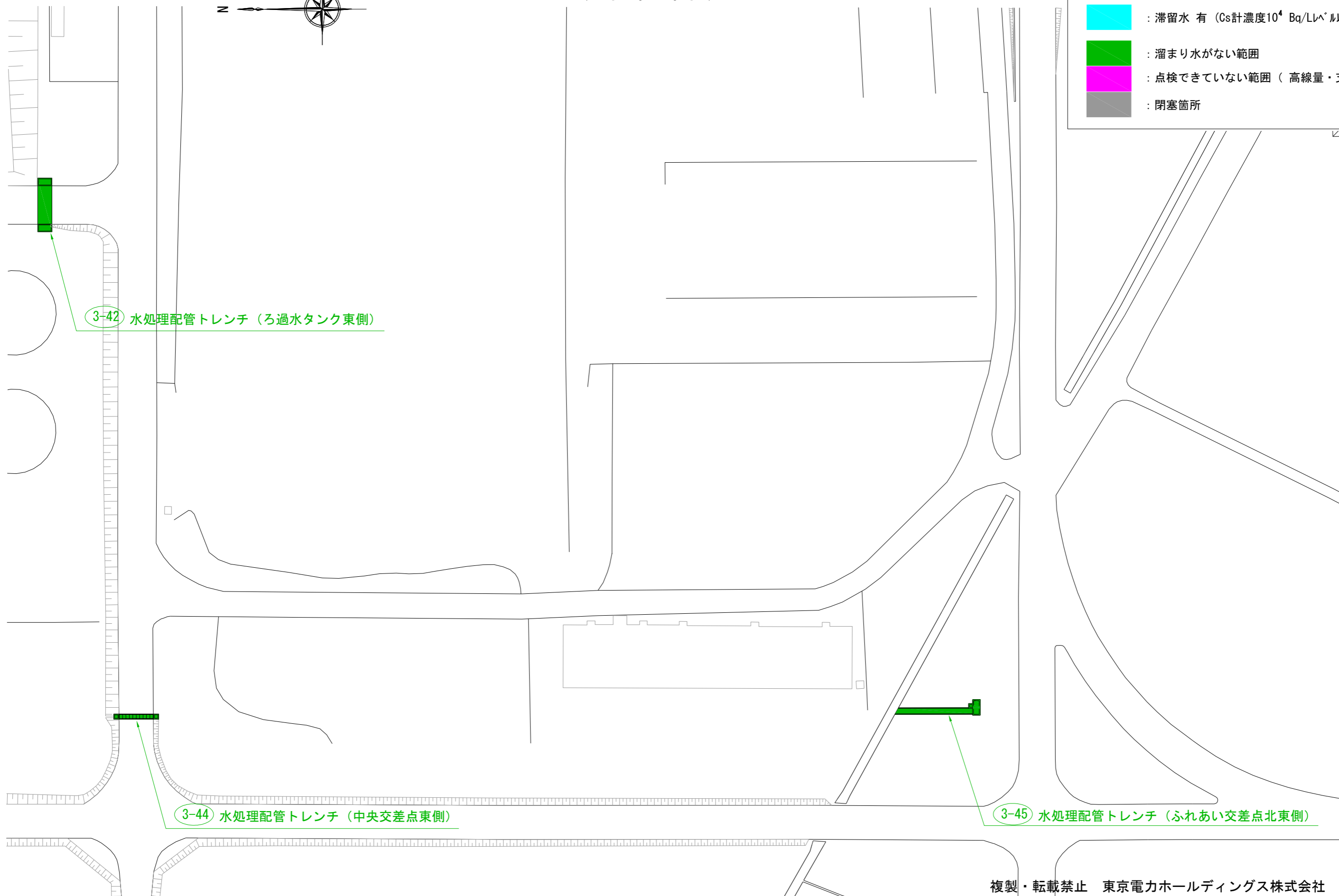
	: 滞留水 有 (Cs計濃度 $10^4$ Bq/Lレベル以下)
	: 溜まり水がない範囲
	: 点検できていない範囲 (高線量・支障物)
	: 閉塞箇所

5・6号機周辺及びその他トレンチ等 (3/3)  
(平面図)



凡例

-  : 滞留水有 (Cs計濃度 $10^4$  Bq/L以下)
-  : 溜まり水がない範囲
-  : 点検できていない範囲 (高線量・支障物)
-  : 閉塞箇所



3-42 水処理配管トレンチ (ろ過水タンク東側)

3-44 水処理配管トレンチ (中央交差点東側)

3-45 水処理配管トレンチ (ふれあい交差点北東側)



# α核種除去設備設置に伴う除染装置処理水タンク内の残水移送 について

2022年5月20日

**TEPCO**

---

東京電力ホールディングス株式会社



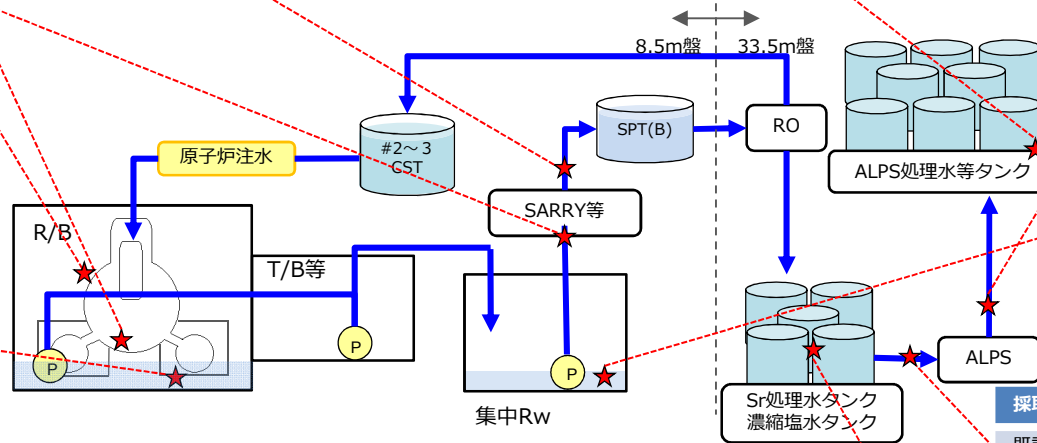
# 1. 建屋滞留水中のα核種の状況

- R/Bの滞留水からは比較的高い全α（2～5乗Bq/Lオーダー）が検出されているものの、セシウム吸着装置入口では概ね検出下限値程度（1乗Bq/Lオーダー）であることを確認。
- 全α濃度の傾向監視とともに、α核種の性状分析等を進め、α核種の低減メカニズムの解明を進める。
- 今後、R/Bの滞留水水位をより低下させていくにあたり、全α濃度が上昇する可能性もあることから、PMB, HTIの機能を引き継いだ一時貯留タンクの設置や、汚染水処理装置の改良も踏まえた、α核種拡大防止対策を検討中。

採取箇所	分析日	全α濃度	採取箇所	分析日	全α濃度	採取箇所	全α濃度	採取箇所	分析日	全α濃度
SARRY入口	2022/2/4	4.9E+01	SARRY出口	2022/2/4	3.1E-01	G1S,G3,G6,G7,H1~5,H4N,H6(I),H6(II),J1~J7,K1~K4,B,B南エリア	<1.0E-01	既設ALPS出口	2021/12/9	<5.7E-02
SARRY II 入口	2022/1/11	1.4E+01	SARRY II 出口	2021/12/6	7.4E-01		増設ALPS出口	2022/1/17	<7.2E-02	

採取箇所	分析日	全α濃度
3PCV	2015/10/22	2.1E+03
3MSIV室	2021/7/8	1.7E+06

採取箇所	分析日	全α濃度
1R/B	2019/6/3*1	2.2E+02
	2021/11/12	2.7E+02
2R/B	2020/2/13*2	7.9E+01
	2020/6/30*1	3.2E+04
3R/B	2021/11/8*1	2.0E+05
	2019/3/7*2	4.5E+05
	2021/7/13	5.4E+05
	2021/11/19	4.8E+03



採取箇所	分析日	全α濃度
PMB	2019/4/9	4.1E+01
	2022/1/27	2.5E+01
HTI	2019/4/10	3.0E+01
	2022/1/28	5.8E+01

採取箇所	分析日	全α濃度
既設ALPS入口	2021/12/9*3	2.8E-01
増設ALPS入口	2022/1/17	6.5E+00

採取箇所	分析日	全α濃度
濃縮塩水タンク上澄み	2021/7/21	1.8E+01
濃縮塩水タンク底部*4	2021/7/21	5.3E+03

現状の全α測定結果 [Bq/L]

\*1: 採集器を用いた底部付近でのサンプリング  
 \*2: ポンプを用いた底部付近でのサンプリング  
 \*3: タンク残水処理中でのサンプリング  
 \*4: タンク解体時の底部残水を集めた水

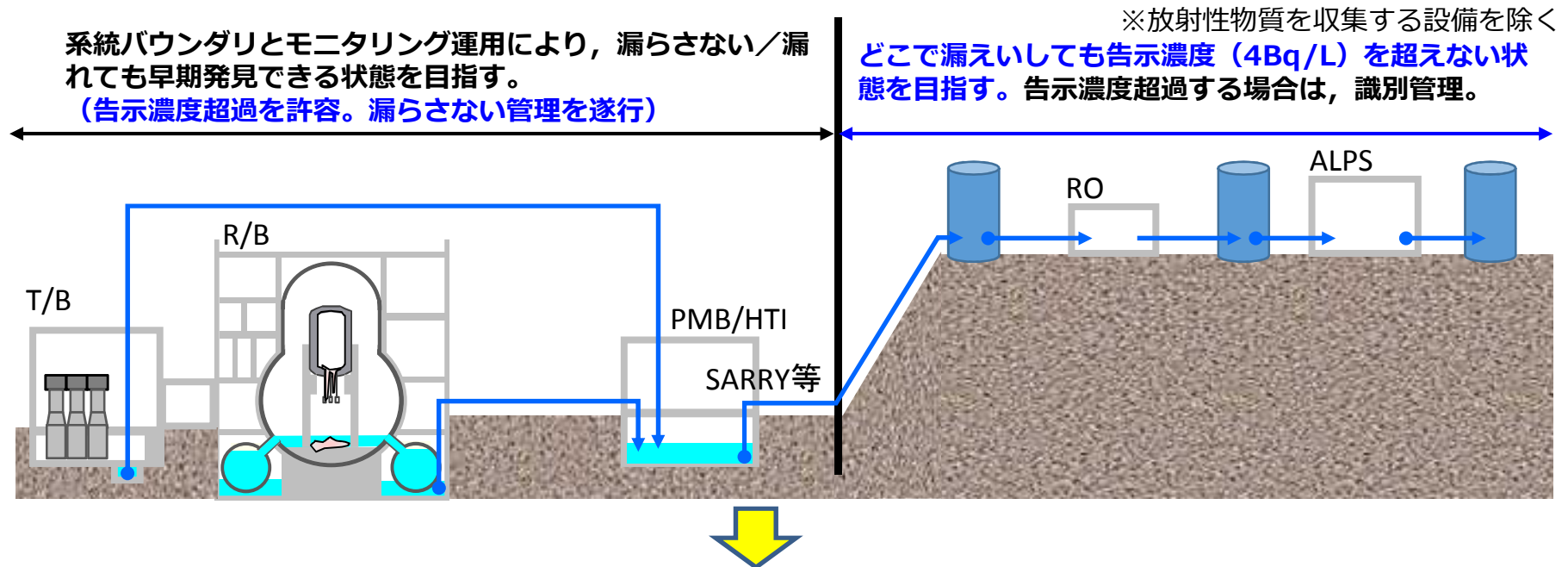
## 各建屋滞留水の全αの放射性物質質量評価 [Bq] ※1

1号機R/B	2号機R/B	3号機R/B	PMB	HTI	合計
1.7E+08	4.8E+07	9.2E+09	9.8E+07	1.3E+08	9.7 E+09

※1 最新の分析データにて評価をしているが、今後の全αの分析結果によって、変動する可能性有り

## 2. α核種管理の目指すべき状態

- ① **8.5m盤：α汚染拡大リスクの最小化が図れた状態**
  - 漏らさない系統構成と早期発見を目指した状態監視（βγ汚染と同じ）
  - 各建屋滞留水の定期モニタリングによるα放射能濃度の把握
  - 8.5m盤から33.5m盤へのα汚染移行抑制措置。水処理設備の最下流(SARRY)の系統内濃度を告示濃度(4Bq/L)未満とする。
- ② **33.5m盤：α汚染管理が要らない状態※**
  - 目標値を超過して保管する場合は、系統/設備を識別管理する



α核種の粒径として、概ね数μm以上のものと計測されており、同程度のフィルタを設置することにより告示濃度(4Bq/L)を満足できるものとする。今後の水質の変化等を考慮して、0.02μm程度のフィルタを設計上想定していく。

### 3. α核種除去設備の方針について

■ 目的

- 8.5m盤の汚染水処理設備の処理装置の出口α核種濃度（全α濃度）を**告示濃度限度【4Bq/L】未満**となるようα核種除去設備を設置する。

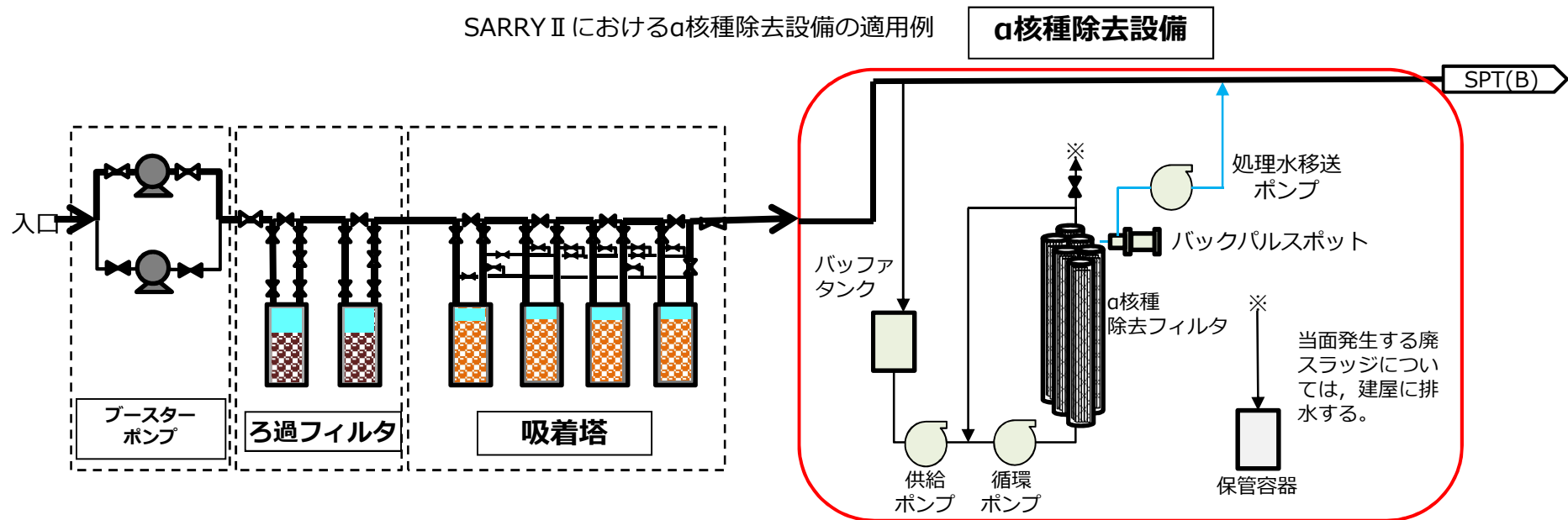
■ 基本設計方針

【設置対象】

α核種除去設備はSARRY/SARRY II に設置


【設備構成】

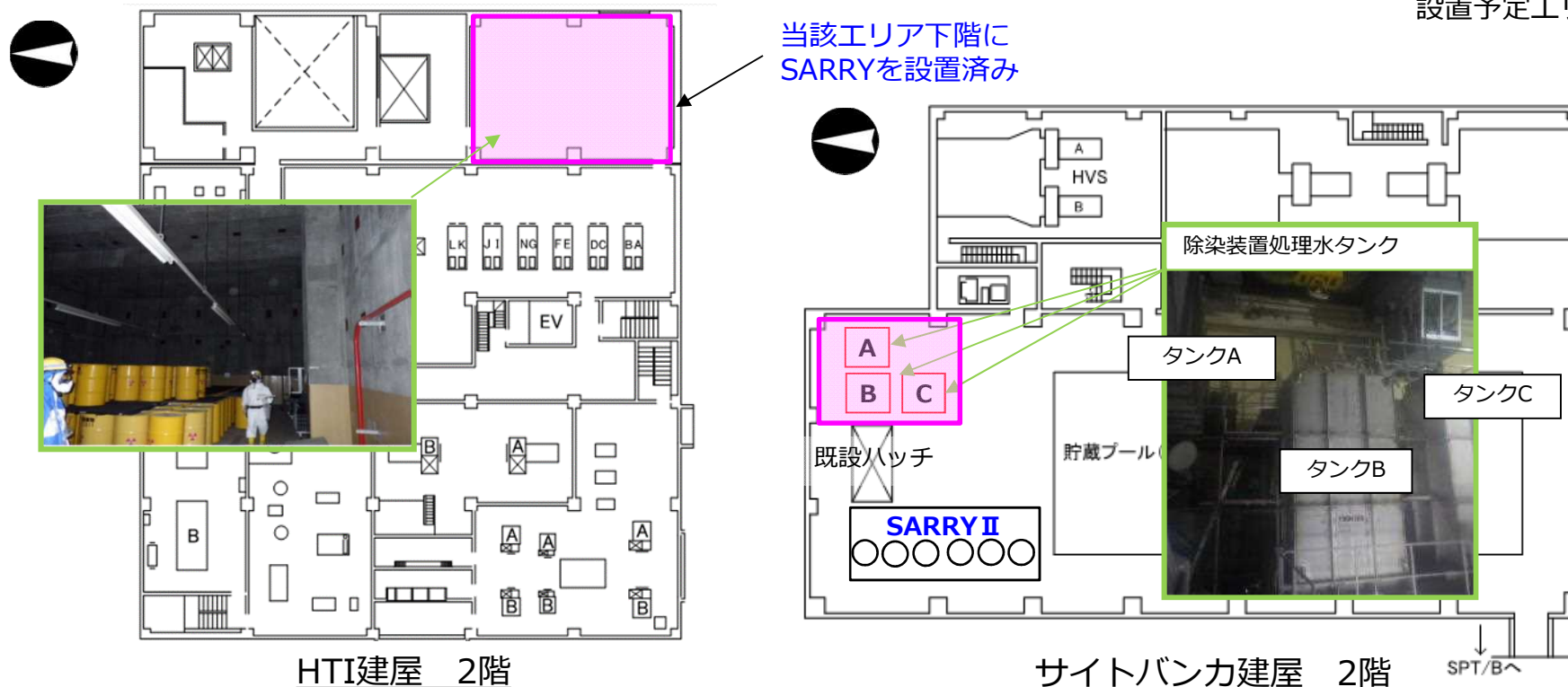
α核種除去設備は下図の通りの設備構成とすること



## 4. α核種除去設備の設置エリアについて

- α核種除去設備の設置エリアについては、機器の搬入性、SARRY、SARRY II と接続する配管敷設距離が短い等の理由により、HTI建屋2階、サイトバンカ建屋2階を予定している。
- なお、当該エリアには、現在以下の設備等が設置されており、エリアの使用にあたり、既存の資機材の移動または撤去作業が必要となる。
  - ✓ HTI 2階：震災前の保護衣等を収納したドラム缶(約360本)
  - ✓ サイトバンカ 2階：除染装置処理水タンクA、B、C
- HTIについては同建屋内空きエリアへドラム管を移動させることで設置エリアを確保する。
- サイトバンカについては、除染装置処理水タンクを撤去することで設置エリアを確保するが、タンク内部には除染装置から移送されたと想定される残水等が残留している。

 : α核種除去設備  
設置予定エリア



## 5. 除染装置処理水タンクの内容物について

- 除染装置処理水タンクにはスラッジを含んだ残水が堆積している。
- 各タンクの内容物の量は以下の通り。なお、スラッジ量は各タンクともに0.3m<sup>3</sup>程度と想定する。
  - ✓ タンクA：約6m<sup>3</sup>
  - ✓ タンクB：約6m<sup>3</sup>
  - ✓ タンクC：約0.5m<sup>3</sup>
- 除染装置スラッジ保管容量の増加については、現在の保管容量(約40m<sup>3</sup>)から1m<sup>3</sup>程度と想定する。
- また、サンプリング結果から、処理水タンクスラッジは除染装置スラッジより1～2桁低い値であることを確認。
- 以上のことから、除染装置処理水タンクの内容物は系統内保有水でありDピットへ移送する。

[単位：Bq/L]

	Cs-134	Cs-137	Sr-90	全α	全β
処理水タンク(A)	1.98E+06	3.26E+07	1.49E+08	ND※1	2.74E+08
処理水タンク(B)	2.10E+07	4.00E+08	1.74E+09	ND※1	4.21E+09
処理水タンク(C)	9.16E+05	6.29E+06	2.34E+08	ND※1	4.65E+08
除染装置スラッジ※3	7.20E+09	7.10E+09	6.60E+10	1.40E+01※2	—

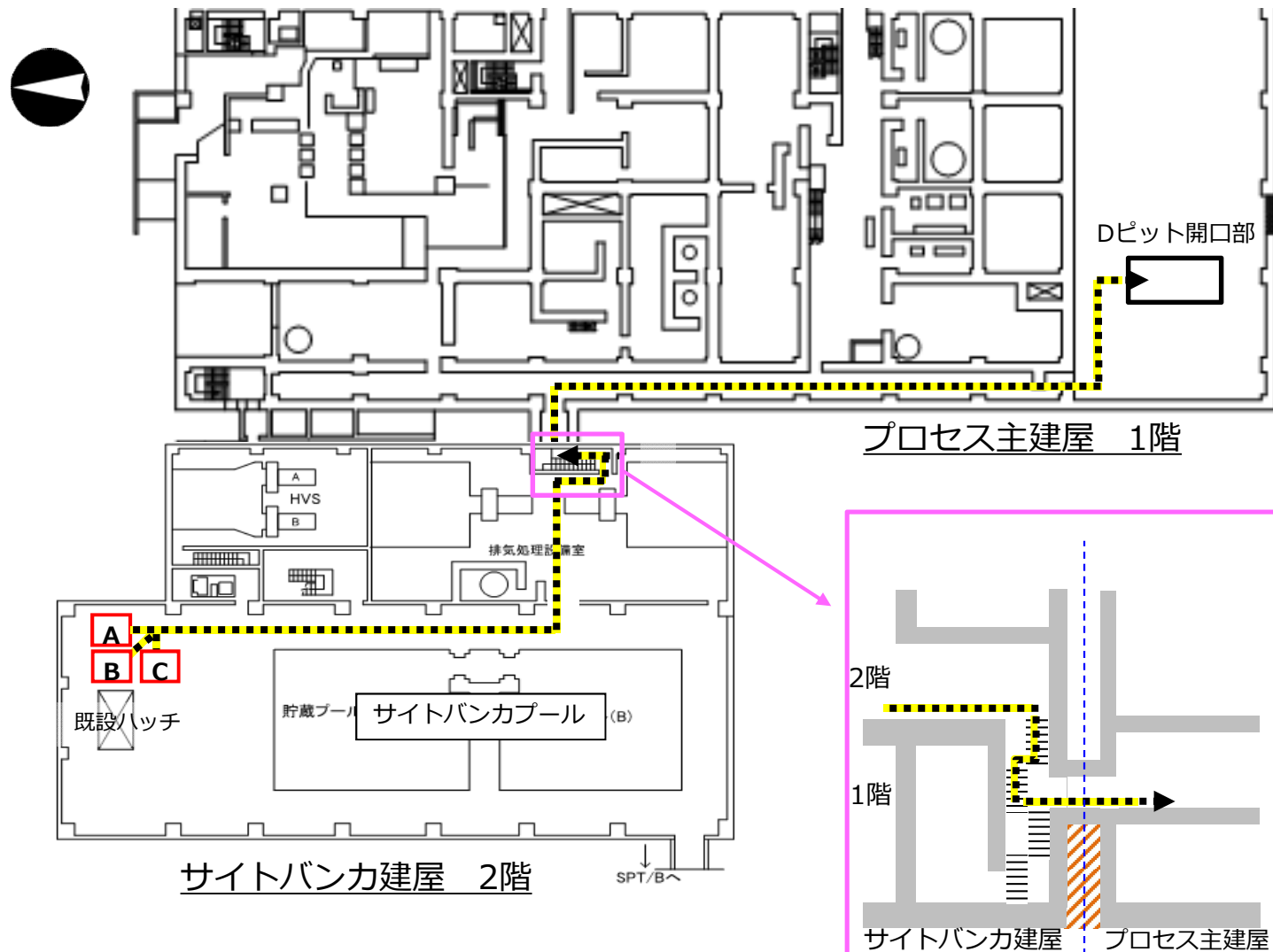
※1 処理水タンクの全α分析結果は検出下限値以下。(検出下限値：1.0E+01 Bq/L)

※2 Pu-238のみ検出。





※3 2018年7月26日 廃炉・汚染水・処理水対策チーム会合/事務局会議資料より抜粋。  
なお、放射能濃度は2011.3.11において補正。

## 6. 移送時の仮設ライン敷設経路について

- Dピットへの移送ラインは、すべて建屋内に敷設するとともに、二重ホースの使用等耐圧ホース運用管理ガイドに準拠した対策を実施する。なお、移送時はダスト測定を実施する。



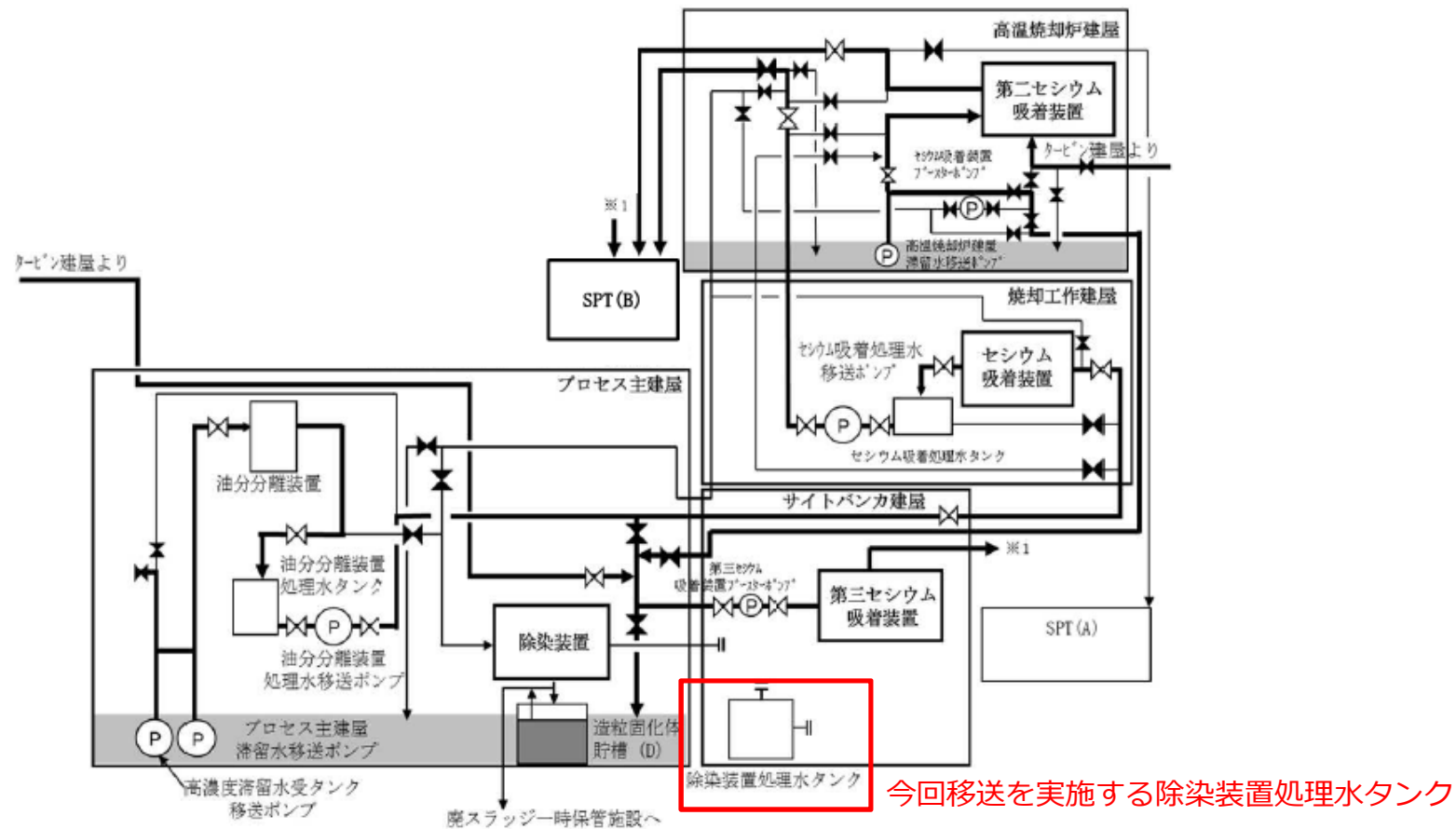
## 7. 想定スケジュール

	2022年度				2023年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
処理水タンク スラッジ移送	▼規制庁面談							
処理水タンク撤去に伴う 実施計画変更申請予定		▼実施計画変更申請(調整中)						
処理水タンク 撤去								
α核種除去設備設 置								



## 【参考】 除染装置処理水タンクについて

- サイトバンカ建屋2階にある除染装置処理水タンクは、処理水をSPTへ移送するためのバッファとして使用していたが、2017年の除染装置停止時に処理水移送ポンプ、付帯配管等を撤去し、現在は運用を停止している。（このため、処理水タンクへの外部からの流入はない。）
- なお、運用は停止しているものの、実施計画上の記載は残されたままである。



実施計画2.5章 除染装置の系統構成図より抜粋